MUSTANG™

LTX50/LTX100

拡張版オーナーズマニュアル

日本語

Fender®

目次

はじめに 1

コントロールパネル 2

リアパネル 3

プリセット基本操作 3

プリセットの編集と保存 4

- プリセットシグナルパスへのアクセス 4
- アンプコントロール設定の編集と保存 5
- プリセット内でのアンプモデルの変更 8
- Mustang LTX50/LTX100アンプモデル 9
- エフェクトパラメーターの編集と保存 9
- エフェクトの置換、追加、削除 10
- タップボタンでディレイタイムを設定 12
- エフェクトのバイパスと移動 13
- Mustang LTX50/LTX100エフェクトモデル 14

メニュー機能 15

- 出力パワー 15
- チューナー 16
- Bluetooth 17
- フットスイッチ 19
- プリセット 21
- レベル 21
- リストア 23
- バージョン情報 23

AUX入力/ヘッドホン出力 23

リアパネル機能 24

- エフェクトループ 24
- ライン出力/グランドリフト 24
- USBポート 24
- フットスイッチ 24

LTX-5フットスイッチ 25

ファームウェア アップデート 28

仕様 29

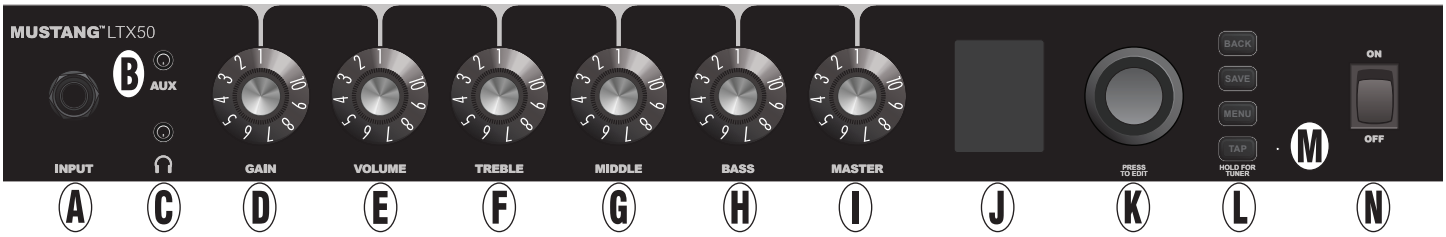
はじめに

この拡張版オーナーズマニュアルは、Mustang LTX50およびLTX100アンプの機能と操作方法に関する包括的なユーザーガイドです。

各MUSTANG LTXアンプに付属のクイックスタートガイドを補完するものとして、このマニュアルでは、内蔵プリセットのナビゲーションと変更、アンプとエフェクトモデルの詳細説明など、アンプの多彩な機能について詳しく解説しています。また、内蔵チューナー、フットスイッチ、USBポート、その他の機能の使用方法について、図解入りのステップバイステップ説明も含まれています。さらに、Fender Tone™アプリと組み合わせることで、より多くのトーナルな可能性が広がります。

コントロールパネル

Mustang LTXフロントコントロールパネルは、INSTRUMENT INPUT（楽器入力）、AUXILIARY INPUT（AUX入力）、HEADPHONE OUTPUT（ヘッドホン出力）、6つのCONTROL KNOBS（コントロールノブ）、DISPLAY WINDOW（ディスプレイウィンドウ）、PUSH ENCODER（プッシュエンコーダー）、4つのUTILITY pushbuttons（ユーティリティプッシュボタン）、TAP LED（タップLED）、およびPOWER SWITCH（パワースイッチ）で構成されています。



*Mustang LTX50*のコントロールパネルを図示；*Mustang LTX100*のコントロールパネルは同一の機能を有しています。

A. INPUT: 楽器をここに接続してください。

B. AUXILIARY INPUT: 外部オーディオ機器接続用の1/8”入力端子。

C. HEADPHONE OUTPUT: ヘッドホン使用のための1/8”出力端子；スピーカー出力をミュートします。

D. GAIN: アクティブプリセットのゲイン設定に影響します。

E. VOLUME: アクティブプリセットの個別音量に影響します。

F. TREBLE: アクティブプリセットの高音設定に影響します。

G. MIDDLE: アクティブプリセットの中音設定に影響します。

H. BASS: アクティブプリセットの低音設定に影響します。

I. MASTER: アンプ全体の音量をコントロール（マスター音量設定はプリセットと一緒に保存されません）。

J. DISPLAY: 使用中のプリセット、プリセットシグナルパス、アンプとエフェクトパラメーター、チューナー、その他のメニュー機能を表示します。

K. ENCODER: プレススイッチ機能付きロータリーコントロール。Mustang LTXプリセット、コントロール、Bluetoothペアリング、その他の機能の閲覧、選択、調整に使用します。

L. ユーティリティボタン

BACK: 前の画面または元のプリセット画面にユーザーを戻します。

SAVE: プリセットの変更保存、プリセットの名前変更、新しい場所への保存、プリセットのクリアに使用します。

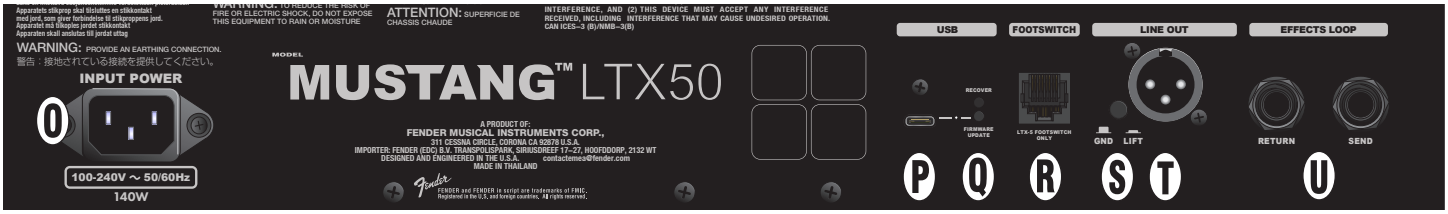
MENU: チューナー、Bluetoothペアリング、フットスイッチ、その他の機能へのアクセスに使用します。

TAP: ディレイタイムの設定と内蔵チューナーへのアクセスに使用します。

M. TEMPO LED: ディレイエフェクトのタイミングに合わせて点滅します。

N. POWER: アンプの電源をオン/オフします。

リアパネル



*Mustang LTX50*のリアパネルを図示；*Mustang LTX100*のリアパネルは同一の機能を有しています。

O. IEC電源インレット: 付属の電源コードを使用して、電源インレットに記載された入力電圧と周波数に従い、アース付きコンセントに接続してください。

P. USBポート: 双方向USBオーディオ（録音とモニタリング）およびファームウェアアップデート用のUSB-Cケーブルをここに接続します。

Q. リカバリーボタンとファームウェアアップデートボタン/LED：上部のボタンは認定されたFenderサービス担当者専用です。下部のボタンはファームウェアアップデートモードを有効にします（https://support.fender.com の説明が利用可能な場合）。小さなファームウェアアップデートLEDは、ムウェアアップデートボタン のすぐ左側にあります。

R. フットスイッチ: 5ボタンLTX-5フットスイッチをここに接続します。

S. グランドリフト: LINE OUTのスイッチで、不要なハムノイズの除去に役立ちます。

T. LINE OUT: PA、ミキサー、またはオーディオインターフェースにオーディオを送るためのXLRケーブルを接続します。

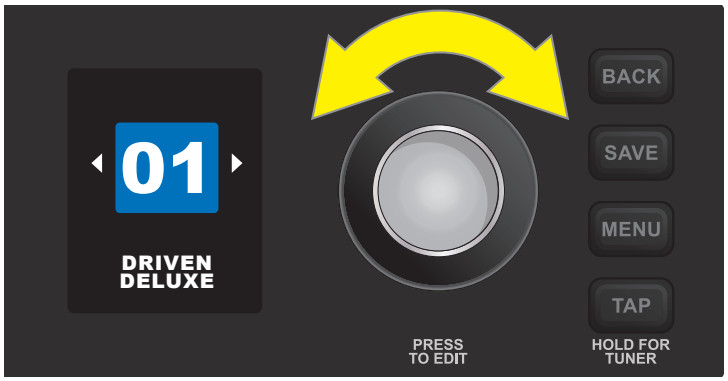
U. エフェクトループ: 標準のTSまたはTRS 1/4”楽器用ケーブルを使用して外部エフェクトを接続します。エフェクトループSENDをエフェクトの入力に、エフェクトループRETURNをエフェクトの出力に接続します。

プリセット基本操作

Mustang LTX50 と100は両方とも100個の連続番号付きプリセット（01-100）を搭載しており、70個のファクトリープリセットと、ユーザーが作成するプリセットおよびクラウドプリセット用の30個の空の「スロット」で構成されています。

各プリセットは、アンプと最大4つのエフェクト（場合によってはエフェクトなし）で構成されています。アンプの電源を入れた際は、最後に使用したプリセットがアクティブになることにご注意ください。100個のプリセットスロットはすべてユーザーがカスタマイズ可能で、元の70個のファクトリープリセットは、必要に応じてFender Tone™アプリを使用していつでも復元できます。

プリセットをスクロールするには、ENCODERを回します；表示されたプリセットがアクティブになります：



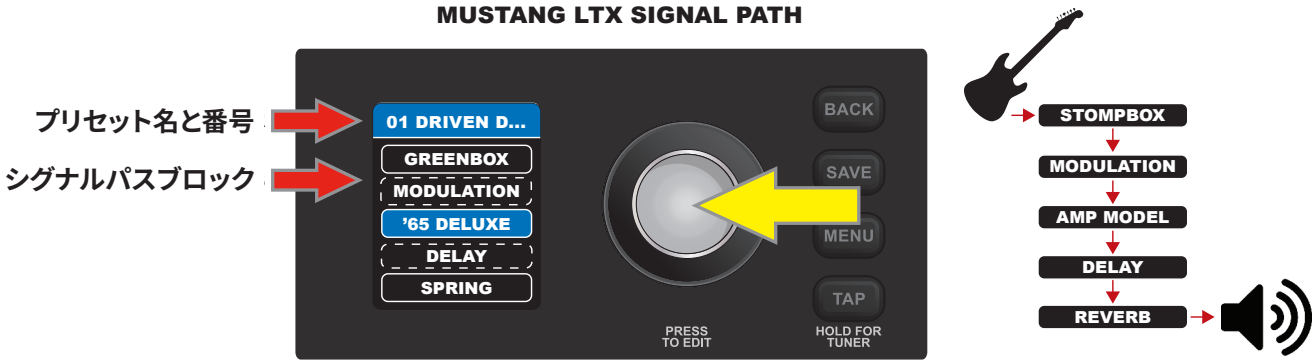
プリセットの編集と保存

プリセットは簡単に編集でき、必要に応じて名前を変更して同じ場所に保存したり、異なる場所に保存したりできます。各アンプタイプのコントロールを調整したり、アンプモデルを別のものに置き換えたりできます。同様に、様々なエフェクトコントロールを調整したり、プリセットからエフェクトを削除または追加したりできます。

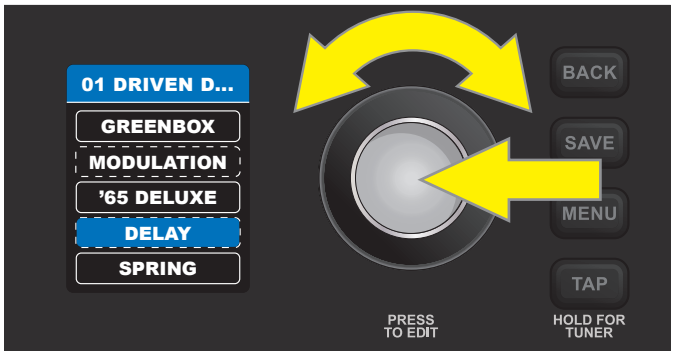
プリセットがアクティブな時、その番号が入ったボックスは青色で表示され、編集が行われていないことを示しています。編集が行われると、プリセット番号のボックスが赤色に変わり、プリセットタイトル画面に「UNSAVED」と表示されます。編集が保存されると、プリセット番号のボックスは青色に戻り、「UNSAVED」タイトルが消去されます。

プリセットシグナルパスへのアクセス

プリセットのシグナルパスにアクセスするには、ENCODERを押します。すると、DISPLAYの上部にプリセットの番号と名前が表示され、入力（上部ブロック）から出力（下部ブロック）までのシグナルパスの5つのブロックが表示されます。各プリセットのSIGNAL PATHは、Mustang LTXの多数のアンプモデルの中の1つと、最大4つの移動可能なエフェクト（場合によってはエフェクトなし）で構成されています。これらのエフェクトカテゴリーブロックは、STOMPBOX、MODULATION、DELAY、REVERBです。プリセットシグナルパスに最初にアクセスする際、プリセット名とシグナルパスの最初のブロックが青色でハイライト表示されます：

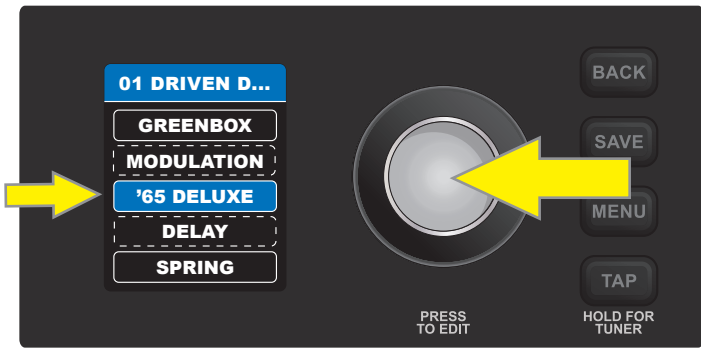


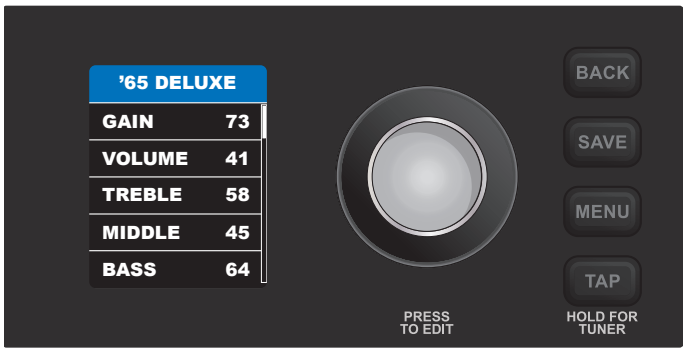
ENCODERを回して押すことで、アンプモデルまたはエフェクトブロックの1つを選択します。アクティブな選択は青色でハイライト表示されます：



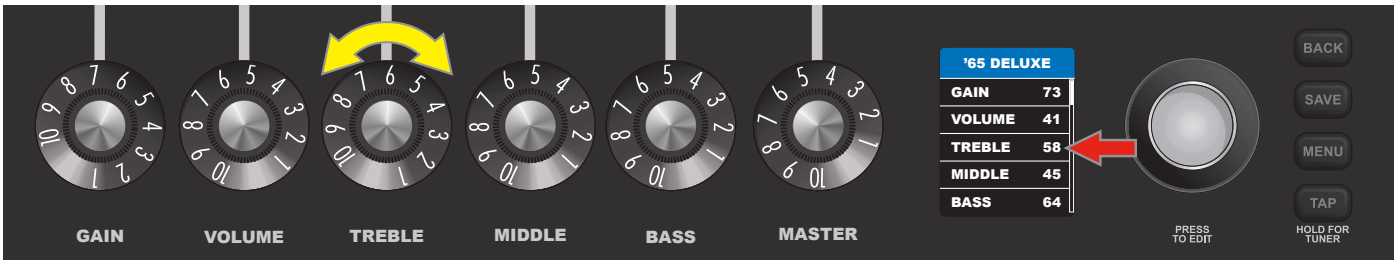
アンプコントロール設定の編集と保存

プリセットのアンプモデルの個別コントロール設定を編集・保存するには、まずENCODERを回して押すことでアンプモデルを選択します。すると、DISPLAYに使用中のアンプモデルのコントロール一覧が表示されます：

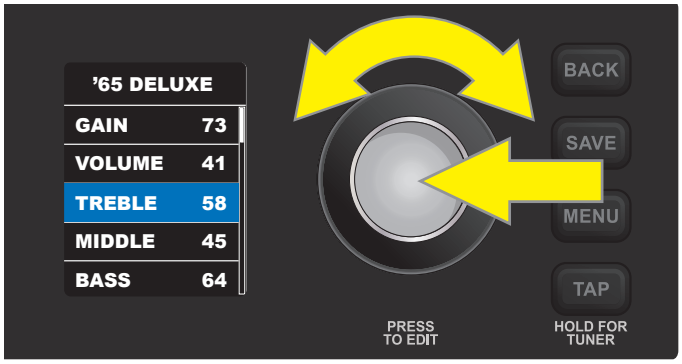


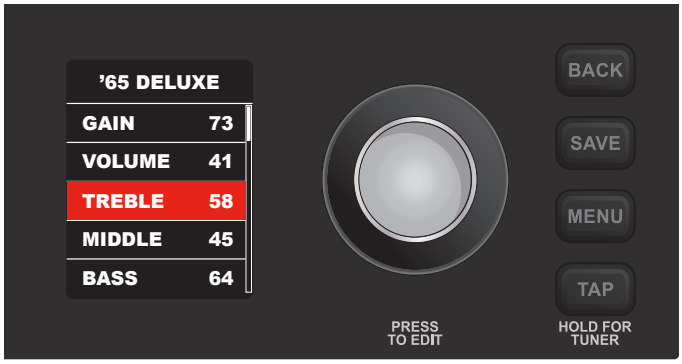


アンプコントロールノブ設定を調整するには2つの方法があります。コントロールパネルの実際の物理ノブに対応するコントロールパラメーターは、DISPLAYで希望の値に達するまで物理コントロールノブを回すだけで調整できます。下の例では、コントロールパネルの物理TREBLEコントロールノブを回すことで、アンプモデルのTREBLE設定を調整しています：

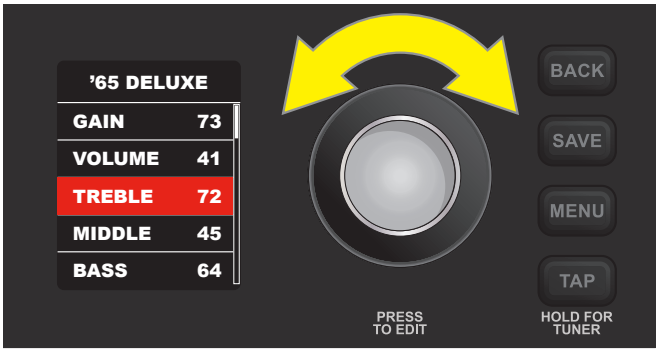


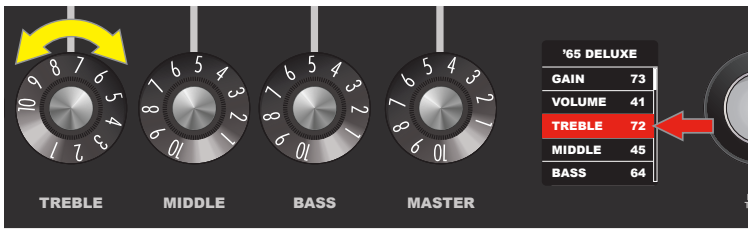
または、ENCODERを回して押すことでコントロールパラメーターを選択します；周囲のボックスが青から赤に変わります：



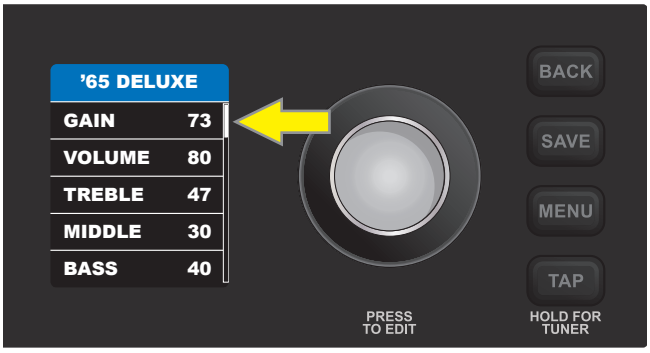


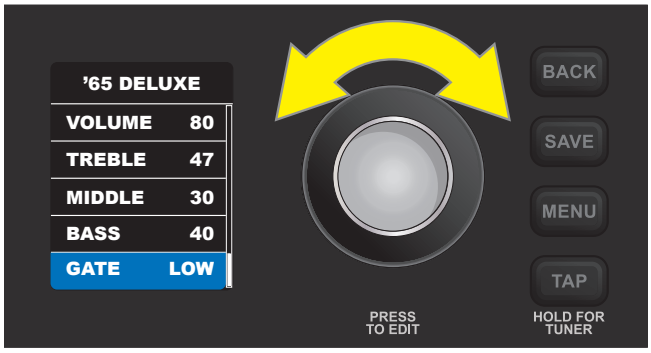
その後、ENCODERを回すか、コントロールパネルの対応する物理コントロールノブを回すことでコントロールを調整できます（次ページの追加画像を参照）：



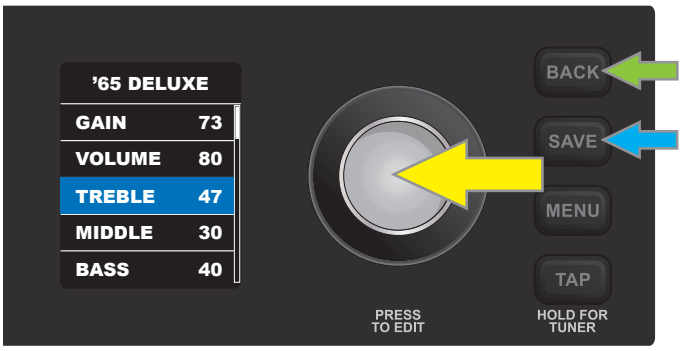


一部のアンプ（およびエフェクト）モデルには5つ以上のコントロールパラメーターがあることにご注意ください。追加パラメーターは、DISPLAYにスクロールバーが表示されることで示されます。これらの追加パラメーターはENCODERでのみ調整可能です：



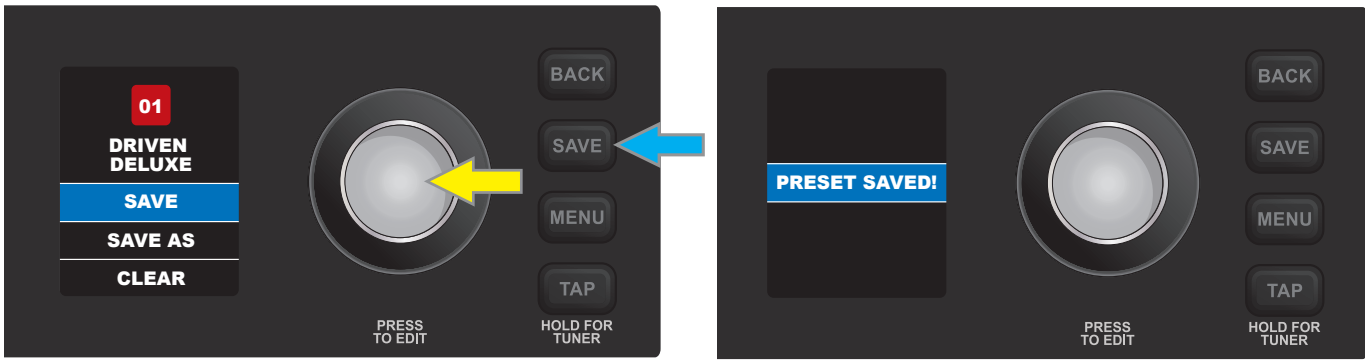


アンプパラメーターに変更を加えた後、ENCODERまたはBACKユーティリティボタン（緑の矢印）を押して、調整されたコントロール値を受け入れます。BACKを押すとシグナルパス画面にユーザーを戻します；ENCODERを押すとユーザーはコントロール設定の変更を続行でき、コントロール設定を囲むボックスは青色に戻ります。コントロール設定の編集が完了したら、SAVEユーティリティボタン（青の矢印）を押して変更をプリセットに保存します：

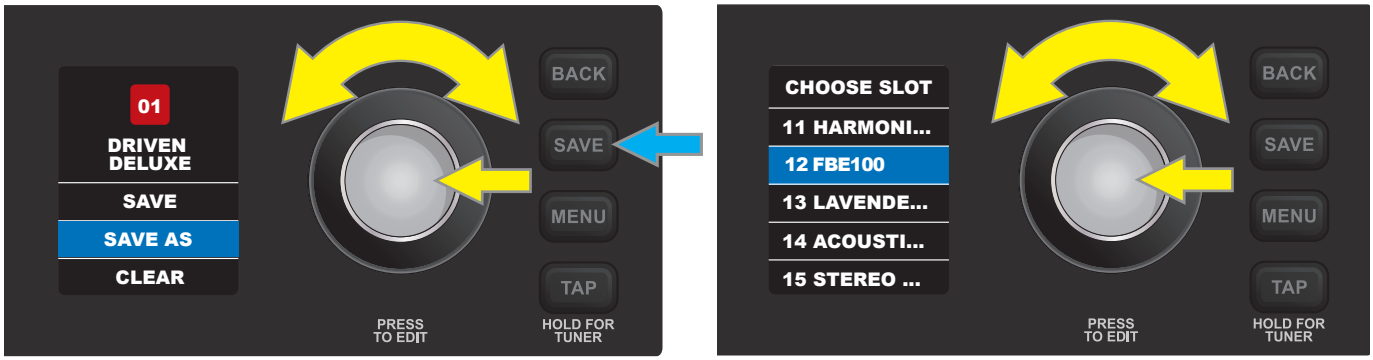


編集されたアンプコントロール設定が保存されない場合、プリセットを離れて戻った時、またはアンプの電源をオフにしてから再度オンにした時に、プリセットは元のアンプコントロール設定に戻ります。編集されたアンプコントロール設定を保存するには、SAVEユーティリティボタンを押し、ENCODERを使用してSAVE、SAVE AS、CLEAR PRESETの3つのオプションの1つまでスクロールします。それぞれの詳細は以下の通りです。

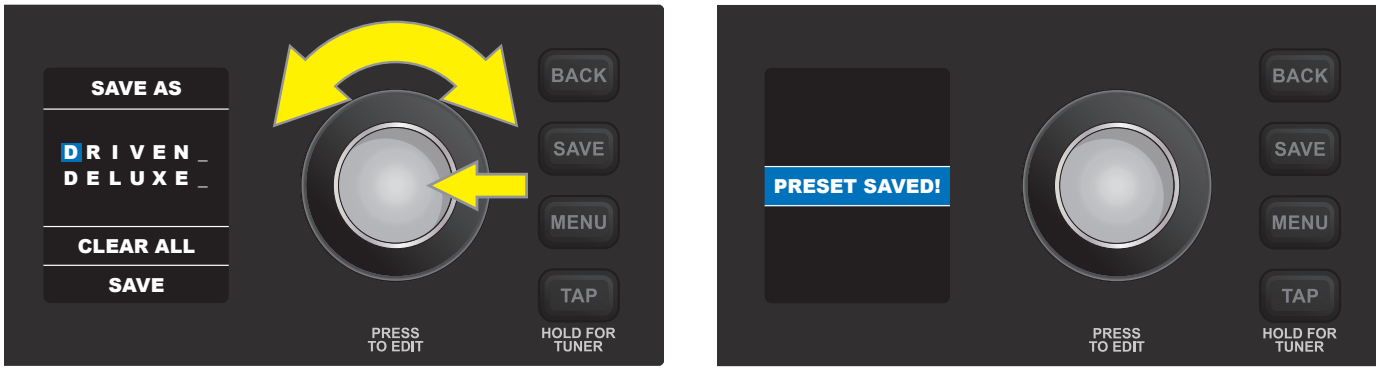
SAVE: 編集されたプリセットを同じ名前で同じ場所に保持します。これを行うには、SAVEユーティリティボタンを押し、ENCODERを使用して「SAVE」までスクロールします。再度SAVEユーティリティボタンを押すか、ENCODERを押します。すると短い「PRESET SAVED!」画面が点滅し、元のプリセット画面に戻ります（次ページの画像を参照）：



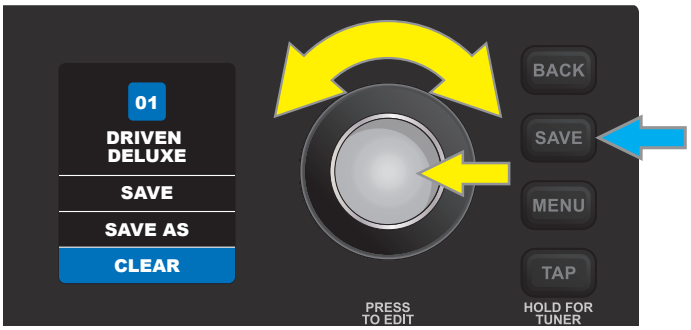
SAVE AS（名前を付けて保存）: プリセットを別の位置に、名前を変更するかしないかに関わらず保存することができます。これを行うには、SAVE utilityボタンを押し、ENCODERを使って「SAVE AS」までスクロールします。ENCODERを押して、プリセットを移動できる場所のリストである「CHOOSE SLOT」にアクセスします。ENCODERを回して押すことで新しい場所を選択します：

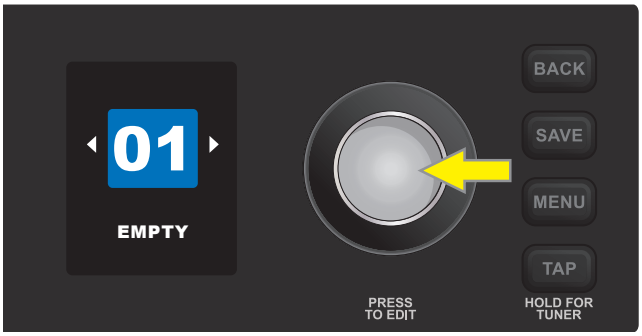


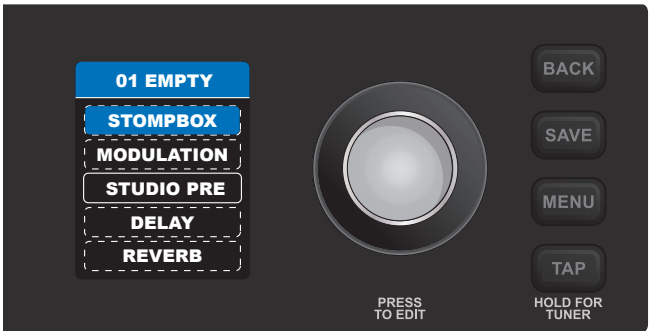
SAVE AS: を使用する際に、プリセットの名前を変更するかどうかに関わらず、ENCODERを押してカーソルを有効にし、ENCODERを回して押すことで文字をスクロールして選択し、名前をつづることで名前を入力する必要があります。ENCODERを使って「CLEAR ALL」をスクロールして選択することで、すべての文字をクリアできます。新しい場所の名前入力が完了したら、SAVE utilityボタンを押すか、ENCODERを使って「SAVE」をスクロールして選択することで保存します。その後、簡単なPRESET SAVED! 画面が点滅してから、元のプリセット画面に戻ります：



CLEAR（クリア）: 既存のプリセットは、SAVE utilityボタン（青い矢印）を押し、ENCODERを使って「CLEAR」をスクロールして選択することでクリアできます。次に、SAVE UTILITYボタンを押して確認します。クリアされたプリセットはクリアされたプリセット番号を保持し、「EMPTY」のラベルが表示されます。シグナルパスは空のエフェクトブロックとSTUDIO PREアンプモデルを持つことになります（次ページの画像を参照）：



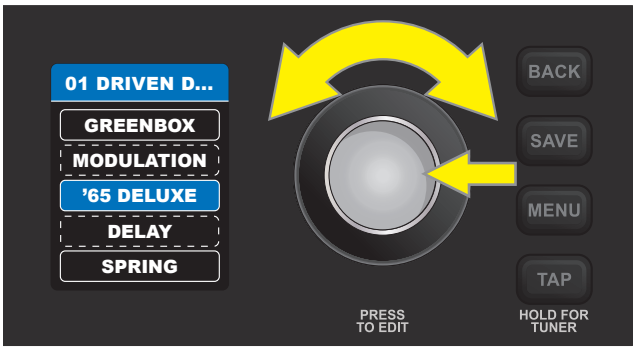


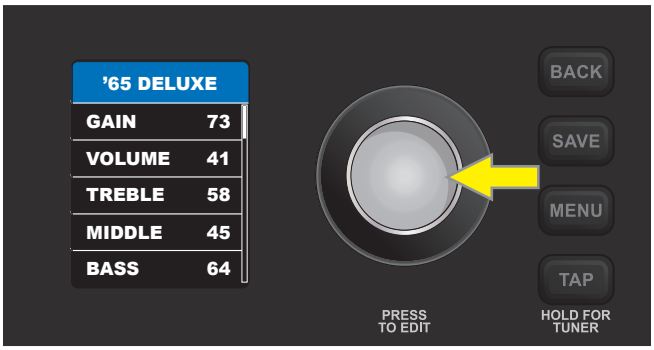


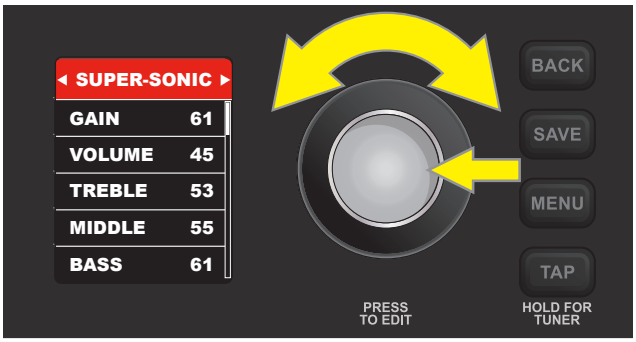
プリセット内のアンプモデルの変更

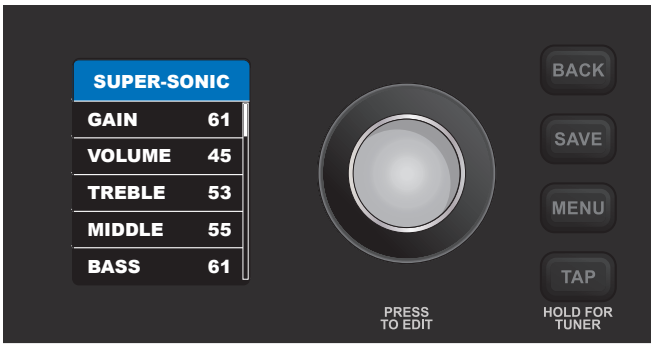
プリセット内のアンプモデルは別のモデルに置き換えることができます。これを行うには、ENCODERを押してプリセットのシグナルパスにアクセスし、希望するアンプモデルまでENCODERを回し、再度押すと選択されたアンプのコントロールリストが表示されます（アンプモデルの名前がこのリストの上部に表示されます）。

ENCODERを再度押してアンプ置換機能を有効にします。アンプ名を囲むボックスが赤くなり、アンプ名を白い矢印が囲みます。ENCODERを回して新しいアンプモデルまでスクロールし、それを押してアンプモデルの変更を受け入れます。その後、アンプ名を囲むボックスが青に戻ります。または、BACK utilityボタンを押してアンプモデルの変更を受け入れ、プリセットシグナルパス画面に戻ります：









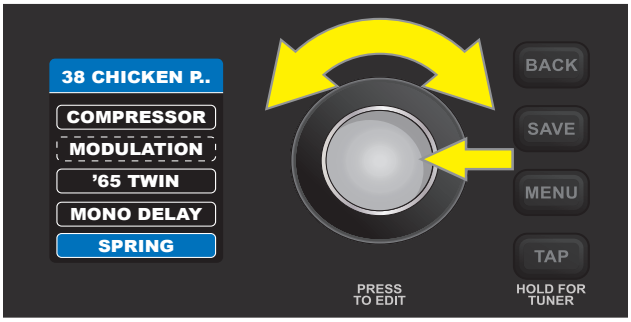
新しいアンプモデルが配置されたら、さらに編集を行うか、SAVE utilityボタンを押して完了した編集内容を保存することができます。

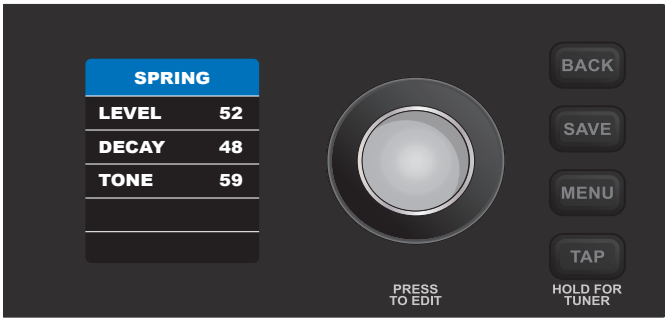
MUSTANG LTX50/100 アンプモデル

’57 CHAMP	’65 DELUXE	’80S BRITISH	BB15 HIGH GAIN	’60S THRIFT
’57 DELUXE	’65 TWIN	’90S AMERICAN	SUPER-SONIC	EXCELSIOR
’57 TWIN	’60S BRITISH	BRITISH COLOUR	FBE-100	STUDIO PREAMP
’59 BASSMAN	BRITISH WATTS	BB15 LOW GAIN	METAL 2000	TUBE PREAMP
’65 PRINCETON	’70S BRITISH	BB15 MID GAIN	UBER	ACOUSTIC SIM

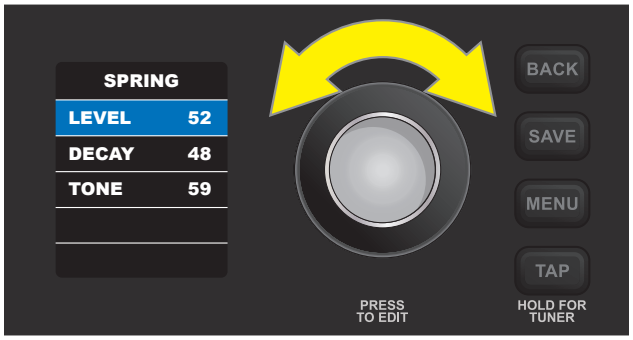
エフェクトパラメータの編集と保存

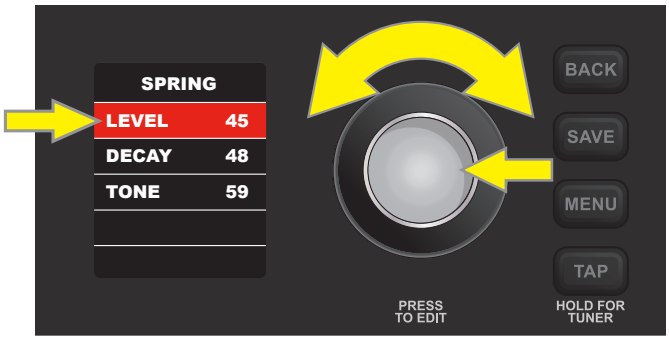
Mustang LTXには4つのエフェクトカテゴリがあります—STOMPBOX、MODULATION、DELAY、REVERB—それぞれに1つのエフェクトを含めることができます。使用中のブロックにはアクティブなエフェクト名が表示され、空のブロックにはカテゴリ名が表示されます。プリセットの各種エフェクト（もしあれば）の個別のコントロールパラメータを編集および保存するには、まずシグナルパスビューでENCODERを回して押すことで、編集したいエフェクトを含むエフェクトブロックを選択します。DISPLAYには、そのカテゴリで使用されているエフェクトモデルのパラメータリストが表示されます：



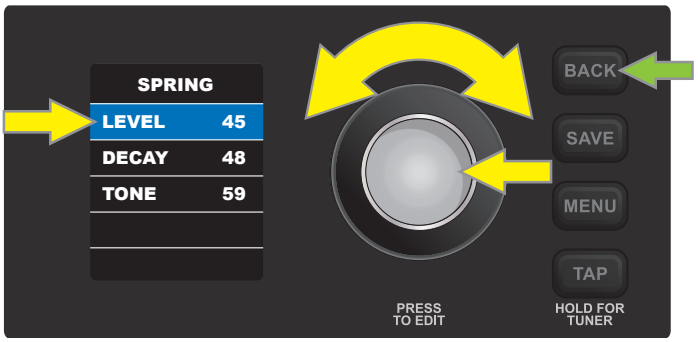


ENCODERを使って特定のエフェクトパラメータまでスクロールし、それを押してエフェクトコントロールを選択します。囲んでいるボックスが青から赤に変わります。ENCODERを回して、選択されたパラメータ値に新しい値を設定します：





エフェクトパラメータに変更を加えた後、ENCODERまたはBACK utilityボタン（緑の矢印）を押して調整されたコントロール値を受け入れます。BACKを押すとシグナルパス画面にユーザーが戻り、ENCODERを押すとユーザーは変更を続けることができ、パラメータを囲むボックスが青に戻ります：

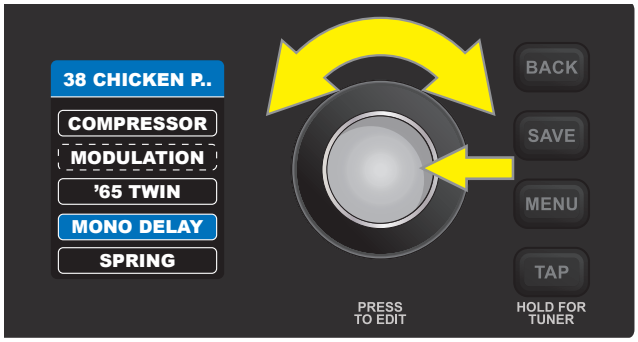


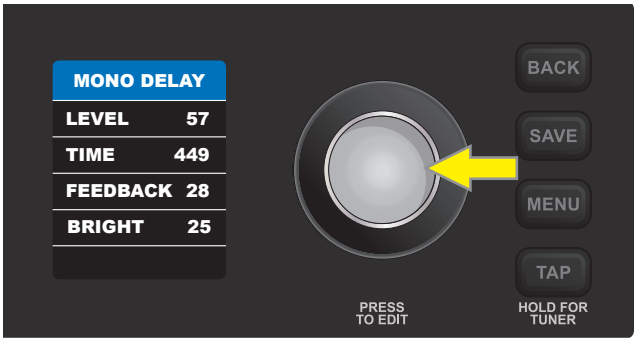
エフェクトコントロール設定の編集が完了したら、SAVEを押して、上記の「アンプコントロール設定の編集と保存」セクションのSAVE、SAVE AS、またはCLEARの指示に従ってプリセットへの変更を保存します。

エフェクトの置換、追加、削除

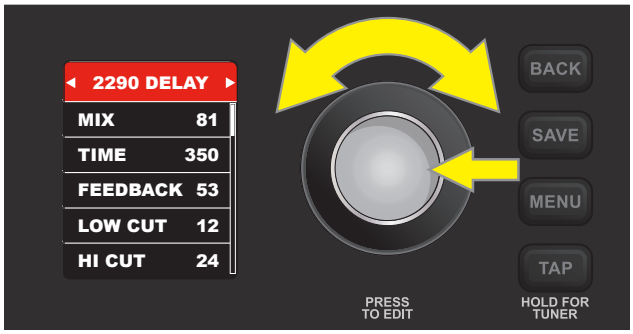
前述のように、4つのエフェクトカテゴリボックスはそれぞれ1つのエフェクトを含むことができます。エフェクトが存在する場合、そのカテゴリ内の別のエフェクトに置き換えることや、削除することができます。エフェクトが存在しない場合は、追加することができます。

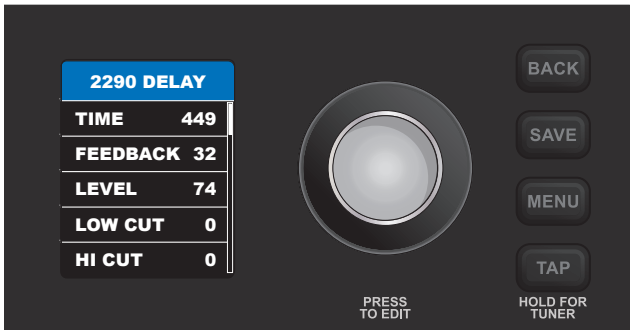
エフェクトを置換（REPLACE）するには、プリセットでENCODERを押してシグナルパスにアクセスし、ENCODERを使って4つのエフェクトカテゴリボックスのいずれかまでスクロールします。ENCODERを再度押してエフェクトカテゴリボックスに含まれるエフェクトを表示します。エフェクトモデルの名前がDISPLAYの上部でハイライトされます：



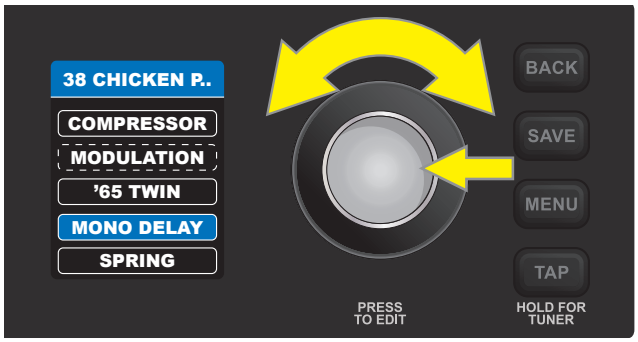


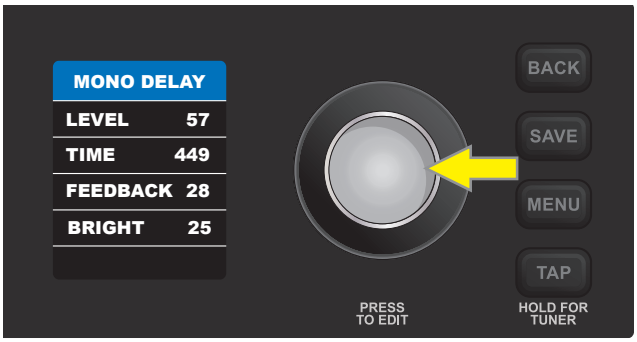
ENCODERを再度押してエフェクト置換機能を有効にします。エフェクト名を囲むボックスが青から赤に変わり、白い矢印がエフェクト名を囲みます。ENCODERを時計回りに回して、そのカテゴリ内の他のエフェクトモデルをスクロールします。ENCODERを押して置換エフェクトを受け入れ、編集モードを終了します。囲んでいるボックスが青に戻ります。または、BACK utilityボタン（緑の矢印）を押して置換エフェクトを受け入れ、プリセットシグナルパス画面に戻ります：



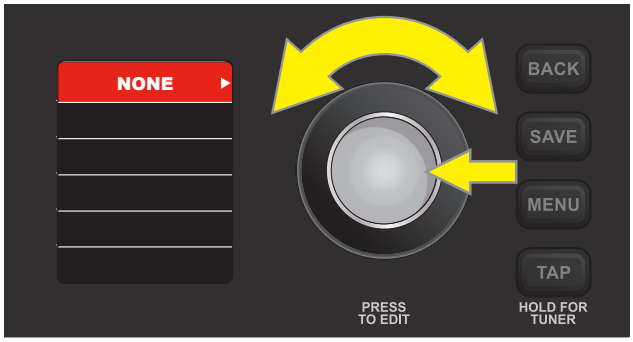


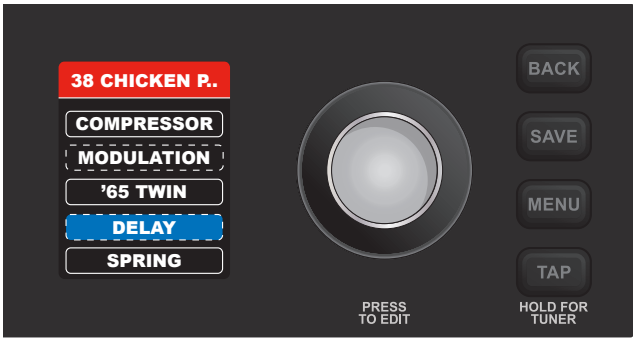
エフェクトを削除（DELETE）するには、置換と非常に似たステップを踏みます。前述と同様に、プリセットでENCODERを押してシグナルパスにアクセスし、ENCODERを使って使用中のエフェクトカテゴリボックスまでスクロールします。ENCODERを再度押してエフェクトカテゴリボックスに含まれるエフェクトを表示します。エフェクトモデルの名前がDISPLAYの上部でハイライトされます：



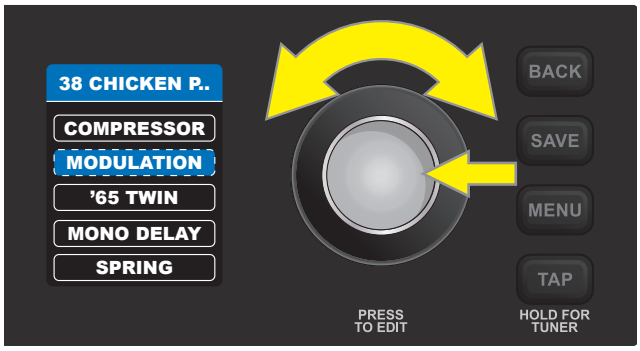


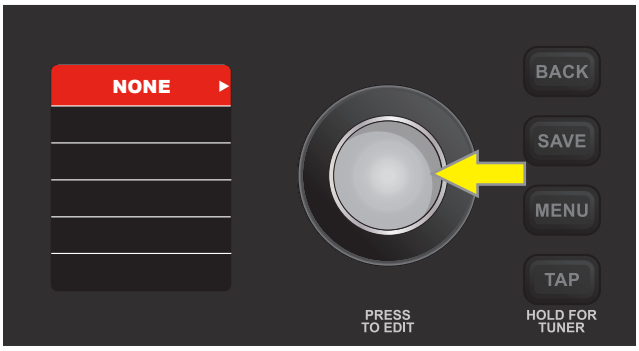
ENCODERを再度押してエフェクト置換機能を有効にします。エフェクト名を囲むボックスが青から赤に変わり、白い矢印がエフェクト名を囲みます。DISPLAYの上部の赤くハイライトされたエフェクトラベルが「NONE」と表示されるまで、ENCODERを反時計回りに回します。NONE」でENCODERを押す（またはBACK utilityボタンを押す）と、以前に使用されていたエフェクトカテゴリボックスが空になった状態でプリセット画面に戻ります：



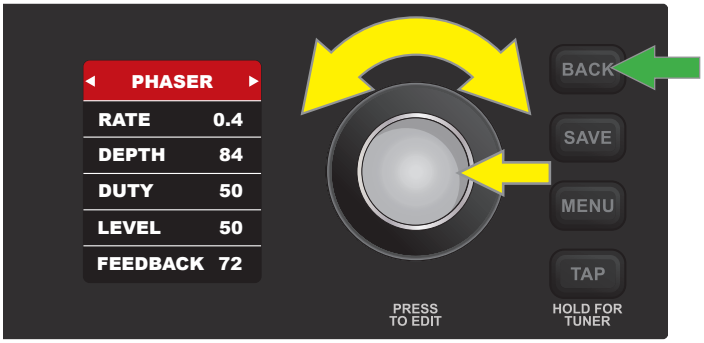


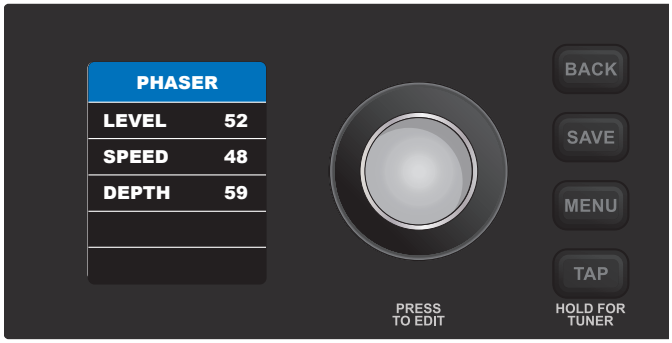
空のエフェクトカテゴリボックスにエフェクトを追加（ADD）するには、まずプリセットでENCODERを押してシグナルパスにアクセスし、ENCODERを使って空のエフェクトカテゴリボックスまでスクロールします。ENCODERを再度押して空のエフェクトカテゴリボックスにアクセスします。赤くハイライトされたラベル「NONE」がDISPLAYの上部に表示されます：





ENCODERを時計回りに回して、そのカテゴリ内のエフェクトモデルをスクロールします。希望するエフェクトでENCODERを押すと、エフェクト名を囲むボックスが青に戻り、エフェクトがそのエフェクトカテゴリボックスに追加されます。または、BACK utilityボタン（緑の矢印）を押してシグナルパス画面に戻ります：





注意：エフェクトが置き換え、削除、または追加された後にプリセットが保存されていない場合、プリセットを離れた後に戻るとき、またはアンプの電源をオフにして再度オンにするときに、プリセットは元のエフェクトモデルに戻ります。変更、削除、または追加されたエフェクトモデルでプリセットを保存するには、上記のSAVE、SAVE AS、またはCLEARの手順に従ってください。

TAPボタンでディレイタイムを設定

Mustang LTXの「DELAY」エフェクトカテゴリボックス内のエフェクトのディレイタイムを設定する方法は3つあります。最初の方法は、上記で詳述した「エフェクトコントロール設定の編集と保存」の指示を使用し、ENCODERを使用してディレイタイムを含む個別のエフェクト設定を選択し調整することです。

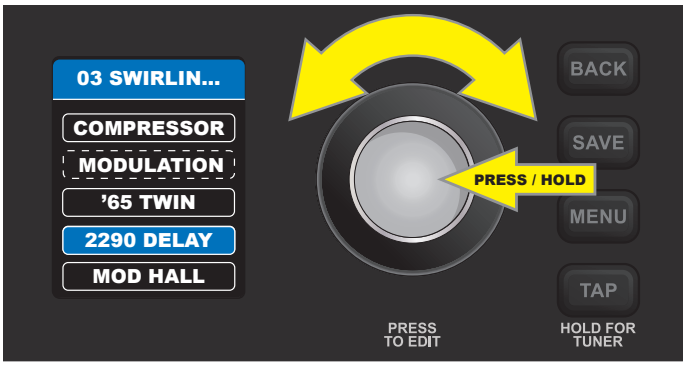
2番目の方法は、TAP utilityボタン（黄色の矢印）を使用することです。プリセットにディレイが含まれている場合、TAP LED（赤い矢印）がそのエフェクトのデフォルトディレイタイムに合わせて点滅します。このタイム設定は、DISPLAY に表示されている画面に関係なく、希望するテンポでTAP utilityボタンを2回以上タップすることで変更できます：

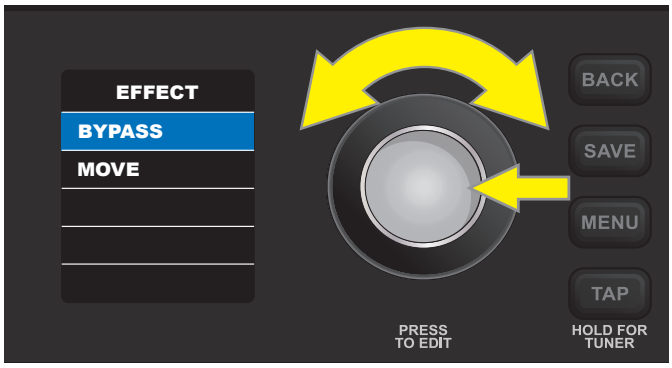
ディレイタイムを設定する3番目の方法は、5ボタンフットスイッチを使用することです。これを行う方法については、フットスイッチセクションの指示を参照してください。

注意：編集されたディレイタイムが保存されない場合、プリセットを離れてから戻る際、またはアンプの電源をオフにして再度オンにした際に、エフェクトは元のディレイタイムに戻ります。編集されたディレイタイムを保存するには、上記のSAVE、SAVE AS、またはCLEARの指示に従ってください。

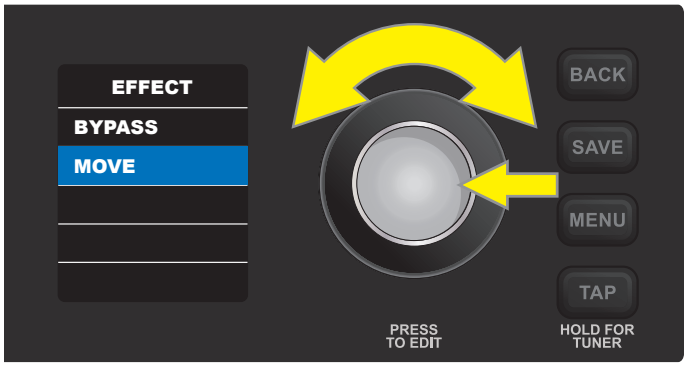
エフェクトのバイパスと移動

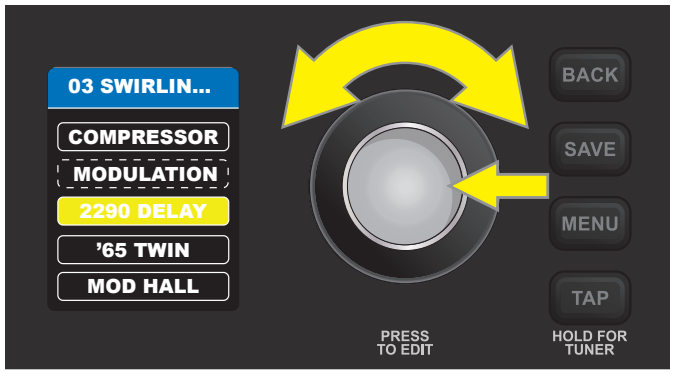
プリセット内の個別のエフェクトをバイパス**(BYPASS)**するには、シグナルパスビューでそれをハイライトし、ENCODERを長押しします。メニューオプションから「BYPASS」を選択し、ENCODERを再度押します。エフェクトブロックボックスが実線から破線に変わり、エフェクトがバイパスされたことを示します。プリセット番号を含むボックスが青から赤に変わります(プリセット編集が行われたことを示します)。エフェクトがバイパスされた状態で、さらに編集を行うか、SAVE utilityボタンを押して完了した編集内容を保存することができます:





プリセット内でエフェクトを移動**(MOVE)**するには、シグナルパスビューでそれをハイライトし、ENCODERを長押しします。メニューオプションから「MOVE」を選択し、ENCODERを再度押します。エフェクトブロックが青から黄色に変わり、エフェクトがシグナルパス内で移動可能であることを示します。ENCODERを回してエフェクトの位置を移動し、押して新しい場所を確認します。プリセット番号を含むボックスが青から赤に変わります(プリセット編集が行われたことを示します)。エフェクトが移動された状態で、さらに編集を行うか、SAVE utilityボタンを押して完了した編集内容を保存することができます(追加の画像は次ページを参照):



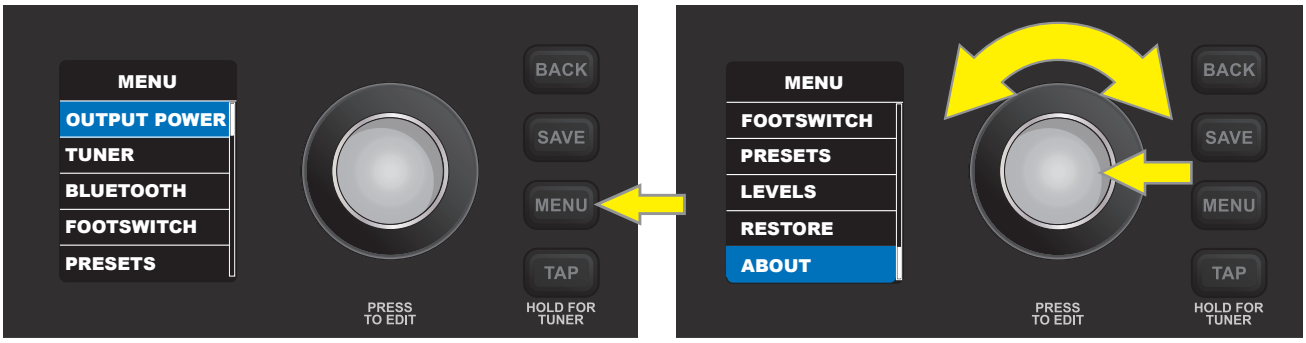


MUSTANG LTX50/100 エフェクトモデル

STOMPBOX	MODULATION	DELAY	REVERB
OVERDRIVE	SINE CHORUS	MONO DELAY	LARGE HALL
GREENBOX	TRIANGLE FLANGER	TAPE DELAY	SMALL ROOM
MYTHIC DRIVE	PHASER	2290 DELAY	SPRING REVERB
BLACKBOX	VIBRATONE	REVERSE DELAY	MOD. LARGE HALL
FUZZ	SINE TREMOLO		
BIG FUZZ	HARMONIC TREMOLO		
OCTOBOT			
COMPRESSOR			
SUSTAIN			
5-BAND EQ			
ENVELOPE FILTER			

メニュー機能

Mustang LTXには8つのメニュー機能があります—OUTPUT POWER、TUNER、BLUETOOTH、FOOTSWITCH、PRESETS、LEVELS、RESTORE、ABOUT—すべてMENU utilityボタンを押すことで簡単にアクセスできます。最初の機能（OUTPUT POWER）が自動的にハイライトされます。ENCODERを使用して任意のメニュー機能までスクロールし選択します：

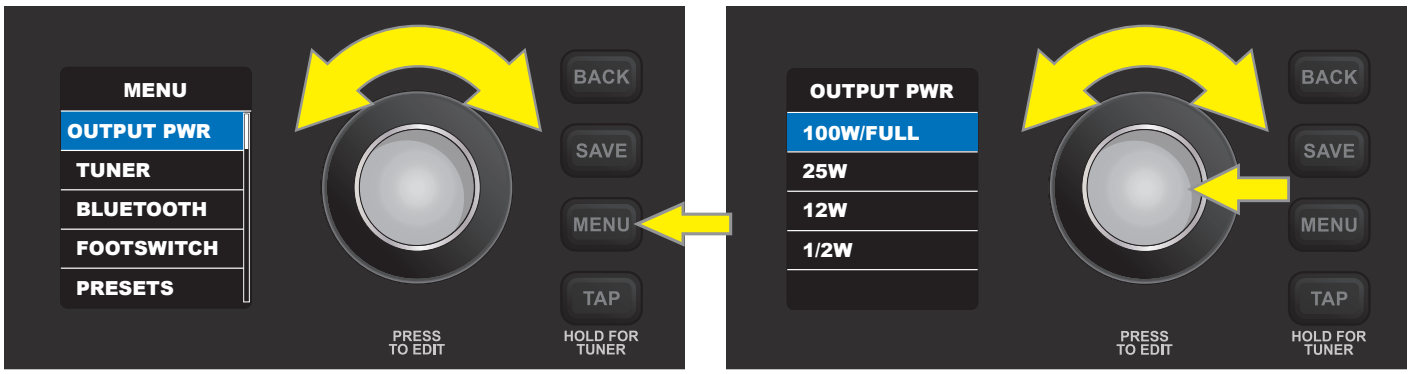


- **OUTPUT POWER:** 4つの異なるワット数設定でアンプの出力パワーを選択するためのものです。
- **TUNER:** Mustang LTX内蔵クロマチックチューナーの使用を有効にします。
- **BLUETOOTH:** Mustang LTX Bluetoothストリーミングオーディオ接続のペアリングのためのものです。
- **FOOTSWITCH:** Mustang LTX 5ボタンフットスイッチの各種機能を設定するためのものです。
- **PRESETS:** Mustang LTXプリセットの画面表示とフットスイッチ表示を設定するためのものです。
- **LEVELS:** リアパネルXLR LINE OUT レベルの調整時と、リアパネルUSBオーディオポートを使用した録音時のシグナル強度メーターを備えたレベルコントロール。エフェクトループリターンレベルをモニタリングするためのシグナル強度メーター。
- **RESTORE:** 工場出荷時のアンプ設定の復元を有効にします。
- **ABOUT:** 現在のファームウェアバージョンを表示します。

MENU: OUTPUT POWER

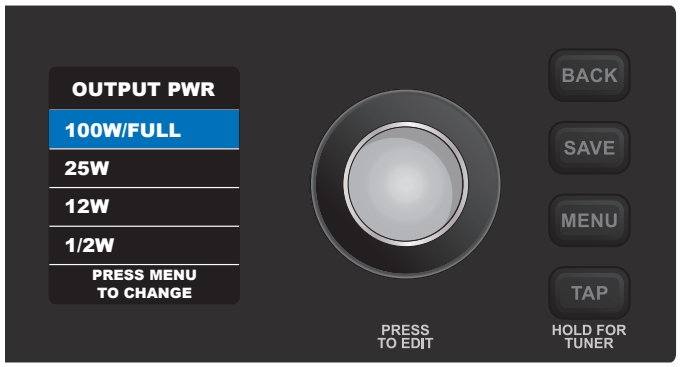
Bluetooth、オーディオ補助入力、USB入力を含む、メインスピーカーへの全体的なアンプ出力レベルをコントロールします。OUTPUT POWERメニューは、環境に合わせて全体的な音量を調整するために、フルパワーと3つの低ワット数設定を提供します（Mustang LTX100の場合：100W、25W、12W、1/2W、Mustang LTX50の場合：50W、12W、6W、1/2W）。

このオプションにアクセスするには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってOUTPUT POWERまでスクロールして選択します。アクティブな出力レベルが自動的にハイライトされます。ENCODERを回して新しいパワーレベルを選択し、それを押して確認します。backボタンを押してOUTPUT POWERメニューを終了します：



Mustang LTX100のOutput Powerメニューを表示；Mustang LTX50のOutput Power選択機能は同じように動作します。

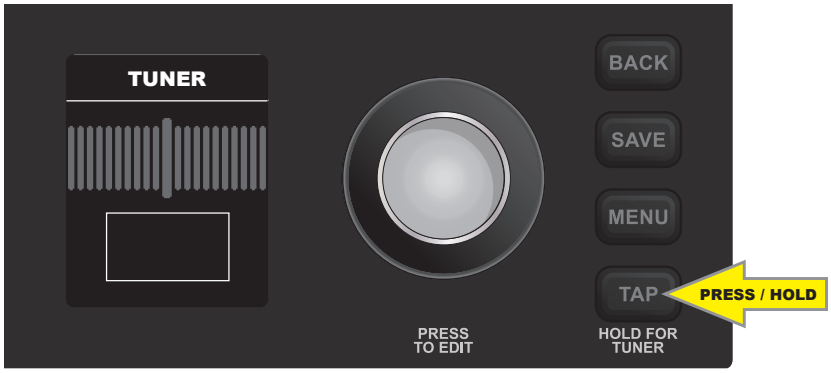
アンプの電源を入れる際、最後に保存されたOUTPUT POWERレベルがアクティブになり、初期起動画面の後に表示されることに注意してください：



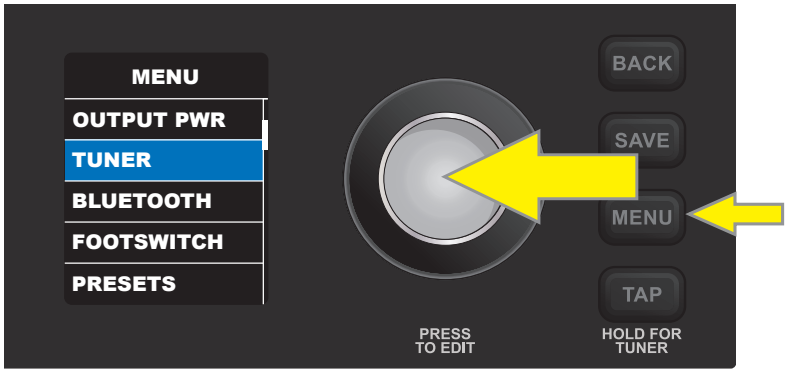
Mustang LTX100の起動時Output Power表示を示しています；Mustang LTX50の起動時Output Power表示も同じように機能します。

MENU: TUNER

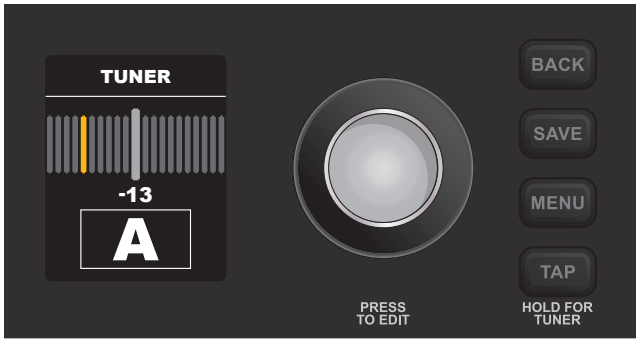
Mustang LTX内蔵クロマチックチューナーにアクセスする方法は3つあります。最初の方法は、DISPLAYにチューナー画面が表示されるまで、コントロールパネルのTAP utilityボタンを長押しすることです：



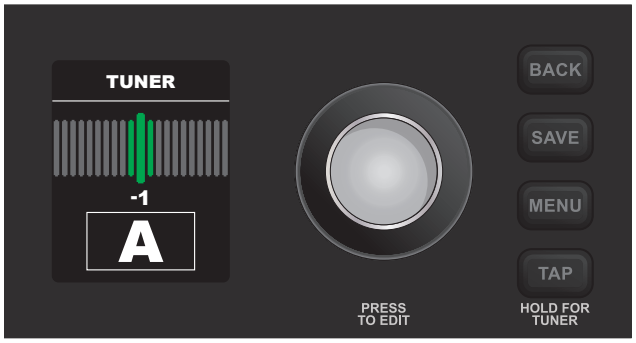
2番目の方法は、コントロールパネルのMENU utilityボタンを押すことです。MENU機能のリストがDISPLAYに表示され、TUNER機能がリストの最上部で自動的にハイライトされます。TUNERでENCODERを回して押すとチューナー画面にアクセスできます：



TUNER を使用するには、音を出してください。音程の文字名が下のボックスに表示され、正確な音程値からの数値的距離がセント単位でその真上に表示されます。長い縦の中央バーの両側にある短い縦バーが黄色に点灯して、シャープさ（右側）またはフラットさ（左側）の様々な度合いを示します。ピッチが正確な調律から1セント以内にある場合、長い縦の中央バーとその両側の2つの短い縦バーが緑色に点灯します：



TARGET PITCH FLAT



TARGET PITCH IN TUNE

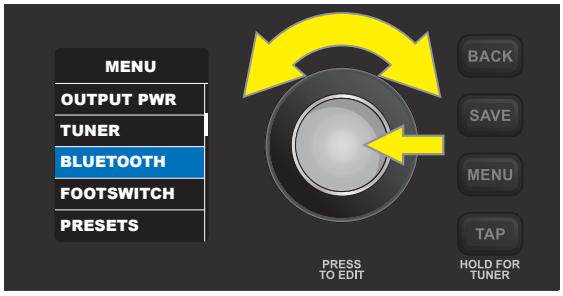
チューニング時はスピーカー出力がミュートされ、チューニングする楽器のボリュームコントロールはTUNERの読み取りに十分な値まで上げる必要があることに注意してください。

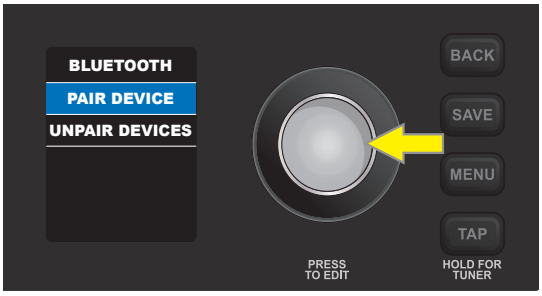
チューナーにアクセスする3番目の方法は、フットスイッチを使用することです。ハンズフリークロマチックチューニングにフットスイッチを使用するには、フットスイッチのセクションを参照してください。

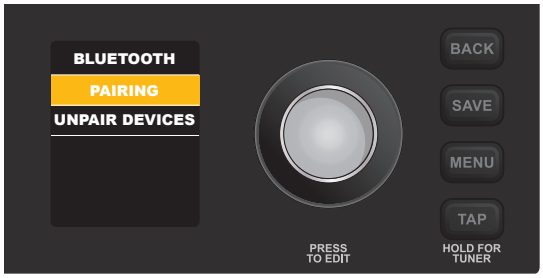
MENU: BLUETOOTH

FENDER TONEアプリ接続：Fender Toneアプリに接続するには（ペアリング不要）、Mustang LTX50/100の電源を入れ、アプリを開き、モバイルデバイスでBluetoothを有効にしてください。モバイルデバイスから求められた場合、ToneアプリにBluetoothアクセス許可を与えてください。その後、互換性のあるFender製品を自動的にスキャンします。デバイスとMustang LTX50/100間のBluetooth接続を確立するには、接続をタッチしてください。

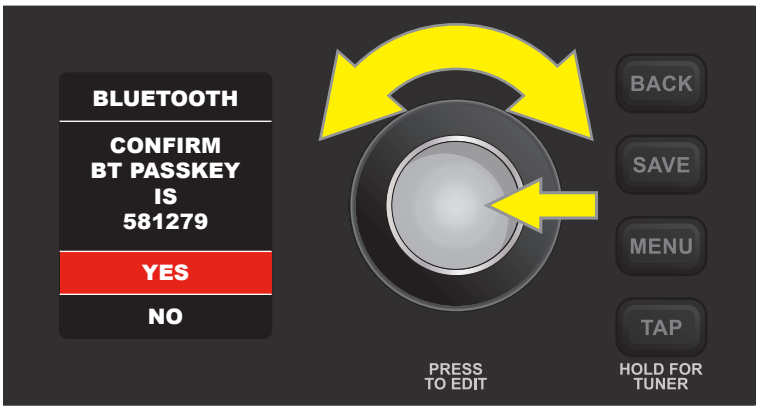
BLUETOOTH オン/オフ、ペア：Mustang LTX50/100への簡単な音声ストリーミングのためにBluetoothを有効にするには、MENUユーティリティボタンを押し、ENCODERを使用して「BLUETOOTH」までスクロールしてください。ペアリングデバイスを選択し、ENCODERを押してください。メニューオプションは「ペアリング中」とラベル付けされた黄色のボックスでハイライトされます。「MUSTANG LTX」がデバイスで検出可能になります。アンプに接続する外部デバイスで「MUSTANG LTX」を選択し、Bluetoothデバイスの音量設定を使用して楽器ミックスレベルを設定してください（全体の音量はアンプのMASTER音量で制御されます）：



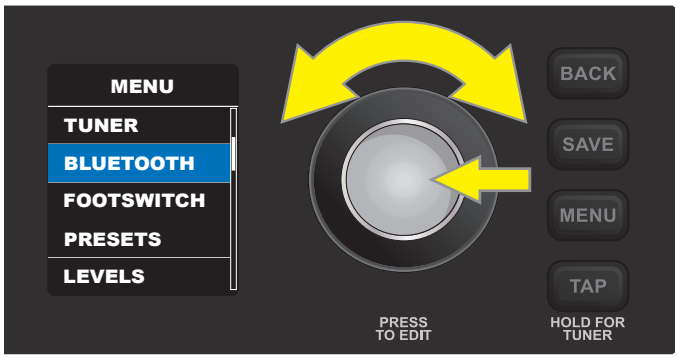


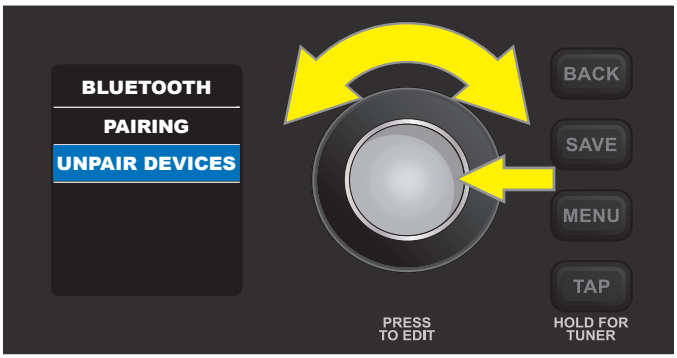


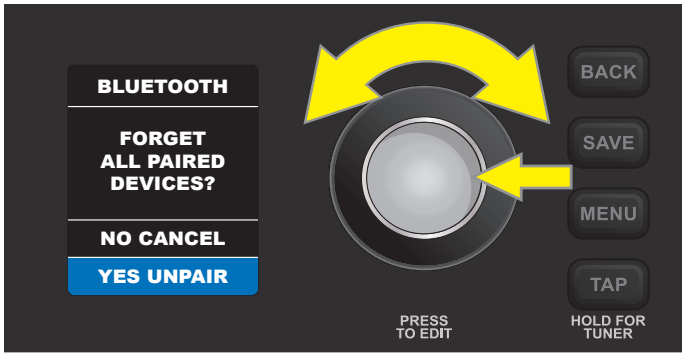
Bluetoothペアリングは、他のBluetooth搭載Mustangアンプやデバイスと同様に、ペアリングリクエストとパスキーを特徴としています。ENCODERを回して押し、希望するオプションまでスクロールして選択します：



BLUETOOTH UNPAIR: Mustang LTXアンプからペアリング済みデバイスをすべて削除するには、ENCODERを回転・押下してUNPAIR DEVICESまでスクロールして選択し、YES UNPAIRを選択してペアリング済みデバイスをすべて削除します：



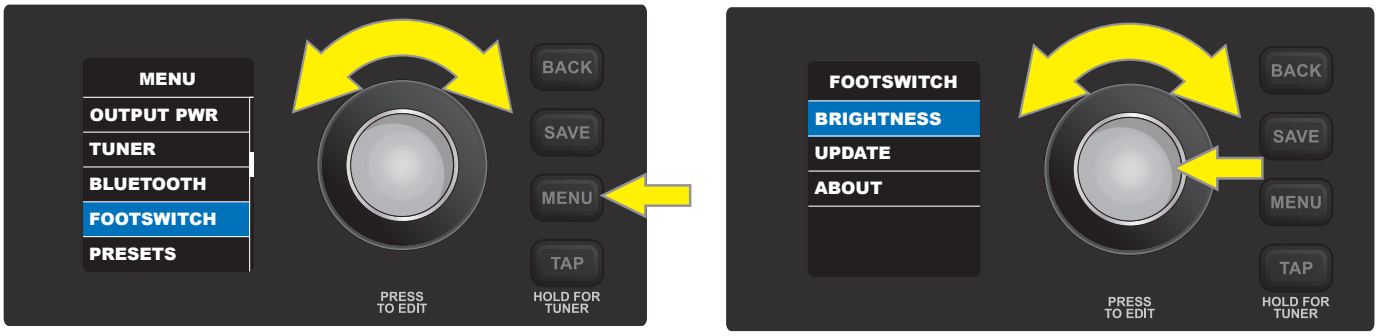


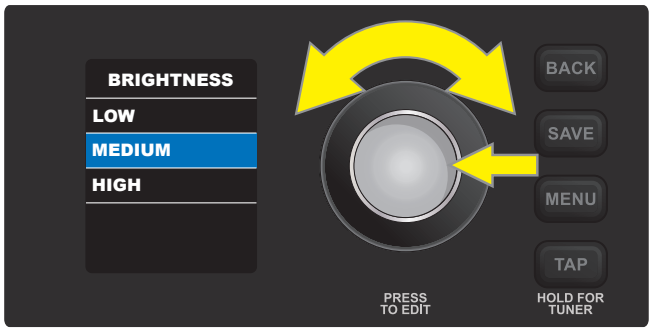


MENU: FOOTSWITCH

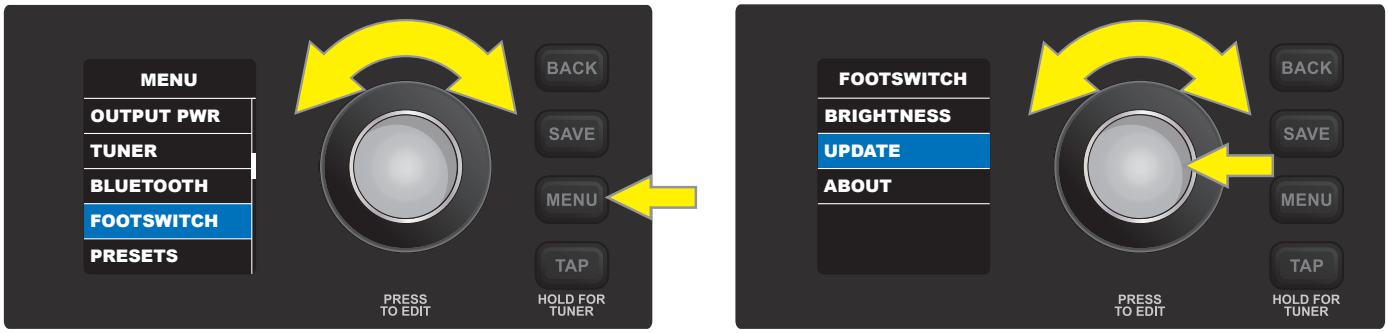
フットスイッチのメニューオプションには、BRIGHTNESS、UPDATE、ABOUTが含まれます。

BRIGHTNESS: フットスイッチディスプレイとLEDの明るさを調整します。これを行うには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってFOOTSWITCHまでスクロールして選択します。BRIGHTNESSを選択し、次にLOW、MEDIUM、またはHIGHレベルを選択します：

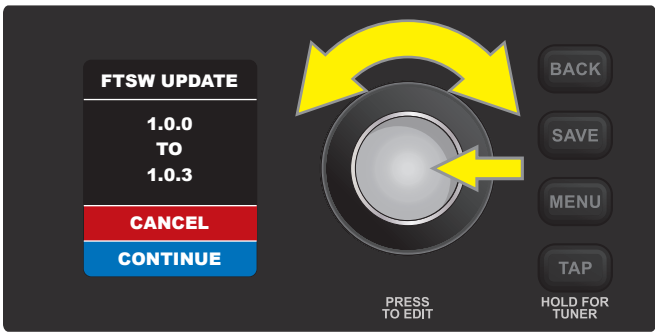


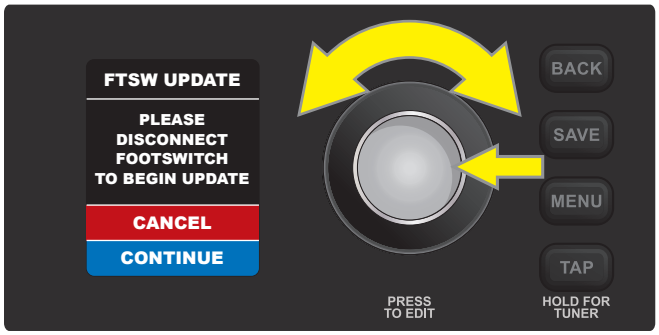


UPDATE: フットスイッチのファームウェアアップデートモードを有効にします。これを行うには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってFOOTSWITCHまでスクロールして選択し、次にUPDATEまでスクロールして選択します：

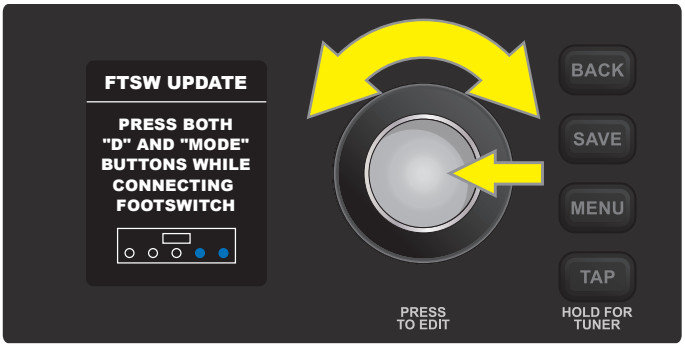


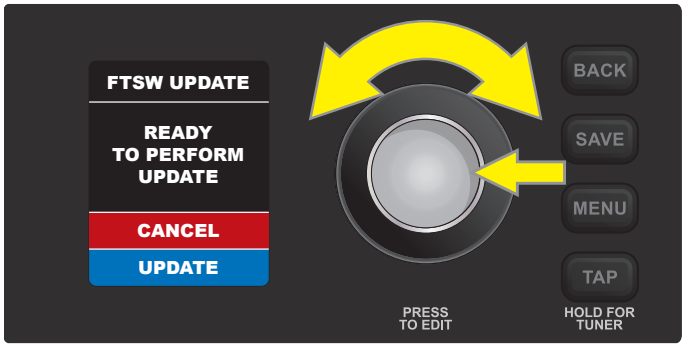
現在のフットスイッチファームウェアアップデートが表示され、CANCELまたはCONTINUEのオプションが表示されます。希望する機能までスクロールして選択します。アップデートを開始するには、フットスイッチケーブルを（既に接続されている場合は）取り外してください。その後、指示があったときに「D」とMODEスイッチを同時に押しながらケーブルを再接続してアップデートモードに入ってください。

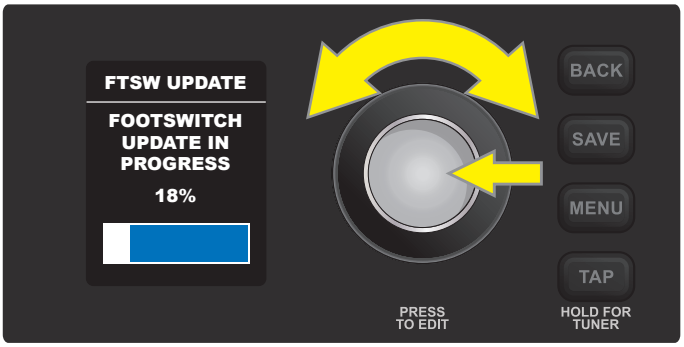


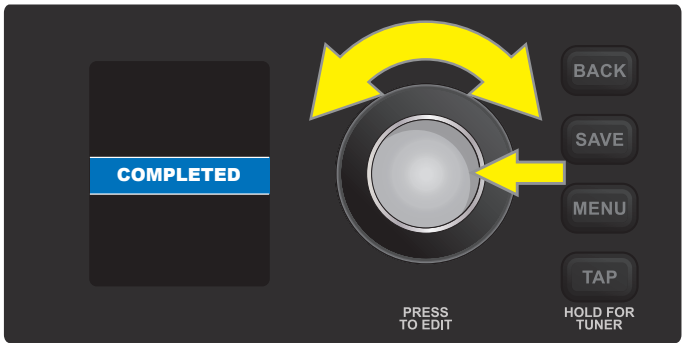


アップデートを続行するには、フットスイッチを接続しながらフットスイッチの「D」と「MODE」ボタン（右側の2つのボタン）を押すようにディスプレイウィンドウの指示に従います。READY TO PERFORM UPDATEメッセージがCANCELまたはUPDATEのオプションと共に表示されます。希望する機能までスクロールして選択します。アップデートを進める際、ステータスバーが進行状況を示し、アップデートが正常に完了するとCOMPLETEDメッセージが表示されます：

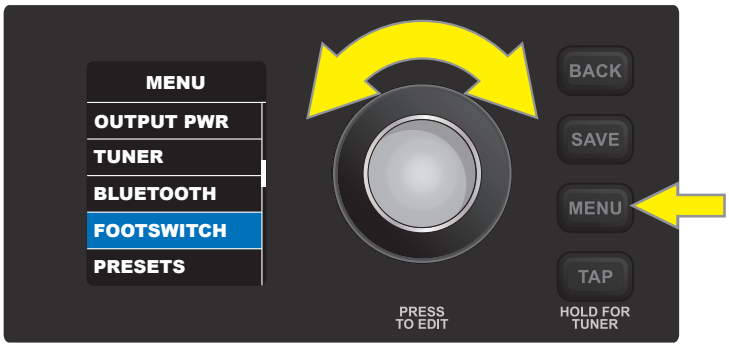


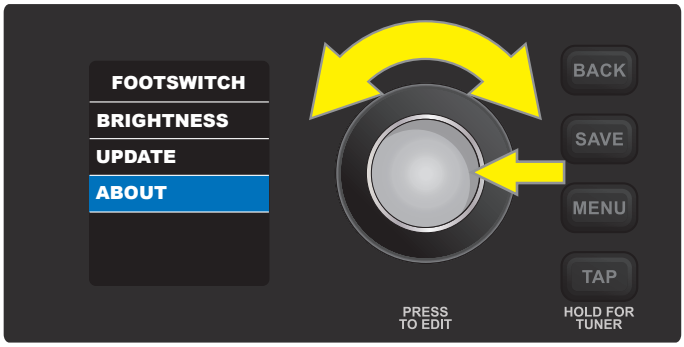


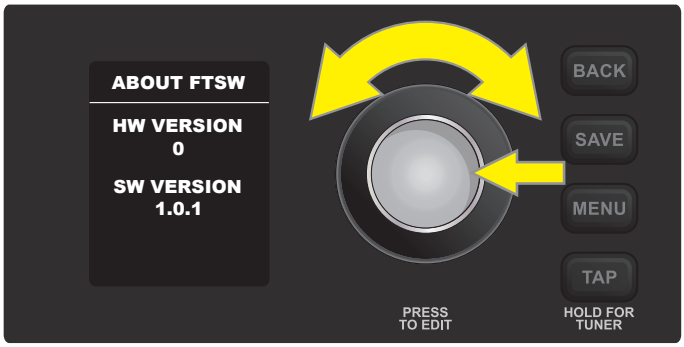




ABOUT: 現在のフットスイッチファームウェアバージョンを表示します。MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってFOOTSWITCHまでスクロールして選択します。ABOUTを選択して現在のフットスイッチファームウェアバージョンを確認します：







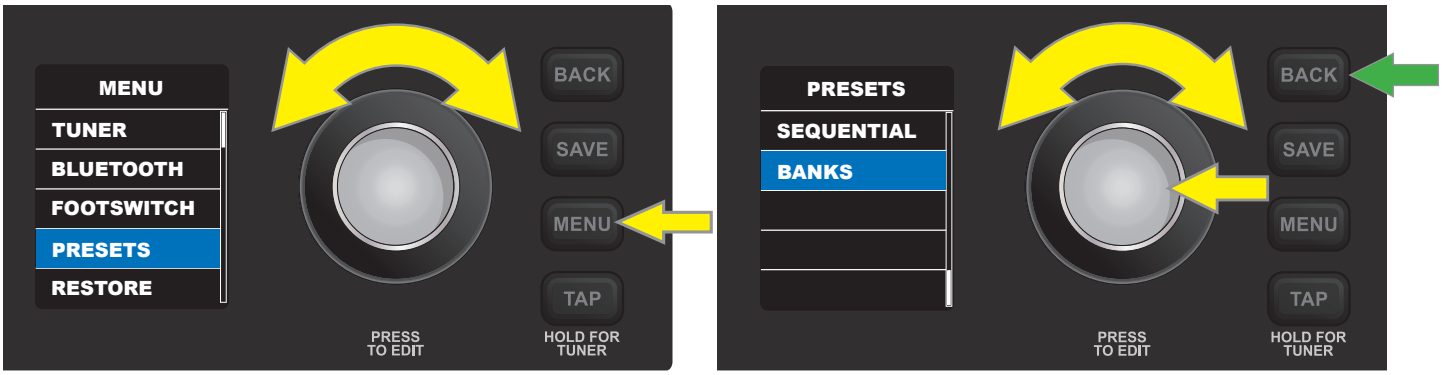
MENU: PRESETS

PRESETSは、アンプとフットスイッチのディスプレイに表示されるプリセット番号を設定します。SEQUENTIALモードは100個のプリセットを01から100まで順番に表示します。BANKモードは100個のプリセットを4つのグループ（AからD）からなる25バンクで表示します。BANKモードは、LTX-5フットスイッチを使用する際のプリセットナビゲーションに便利です。

SEQUENTIAL MODE SHOWING PRESET 51

BANK MODE SHOWING BANK 12, PRESET C

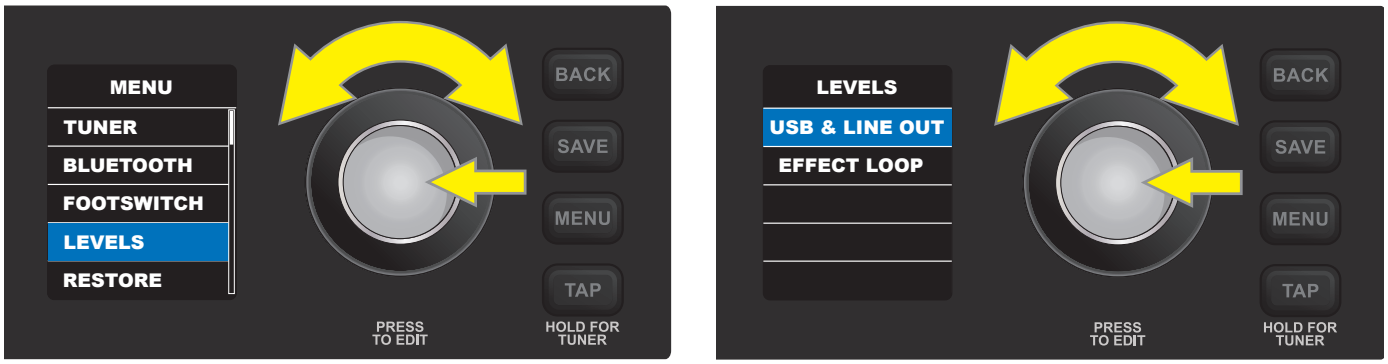
プリセット表示モードを変更するには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってPRESETSまでスクロールして選択します。アクティブな表示モードが青でハイライトされます。ENCODERを回して代替モードを選択し、それを押して確認します。BACK utilityボタン（緑の矢印）を押してPRESETSメニューを終了します：



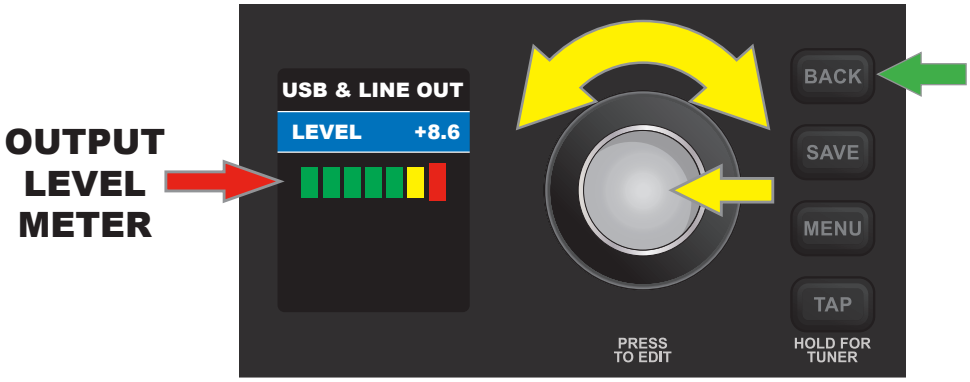
MENU: LEVELS

LEVELSは、LINE OUTボリュームの調整とリアパネルのUSBポートを使用した録音時に使用する、シグナル強度メーター付きのレベルコントロールを搭載しています。MASTERボリュームコントロールはLINE OUTまたはUSB出力ボリュームをコントロールしないことに注意してください。LEVELSはまた、エフェクトループリターンレベルをモニタリングするためのシグナル強度メーターも搭載しています。

USB AND LINE OUT: このオプションにアクセスするには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってLEVELSまでスクロールして選択します。USB & LINE OUTを選択して出力レベルを表示・調整します：

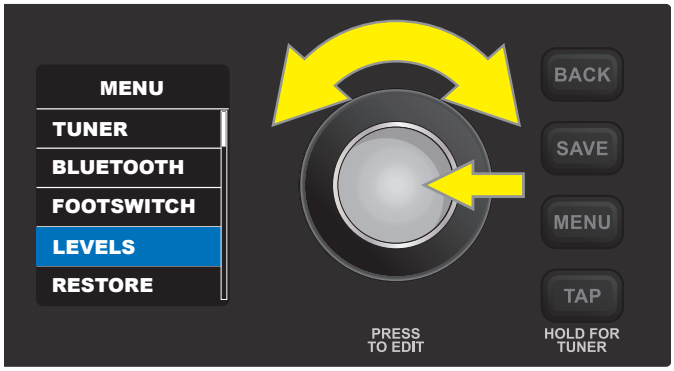


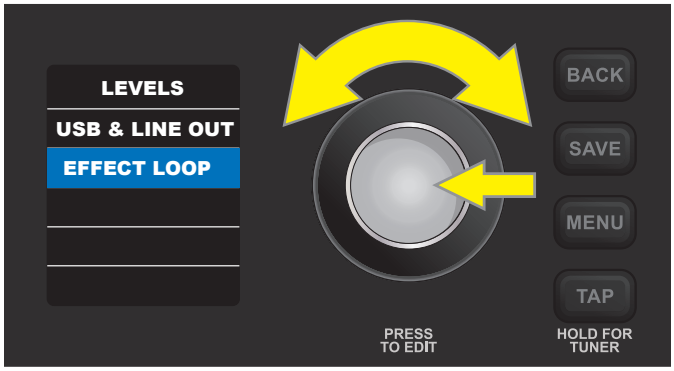
ENCODERを回して新しい「LEVEL」値を設定し、それを押して新しい値を受け入れてメニューを終了します。または、BACK utilityボタン（緑の矢印）を押して新しい値を受け入れ、MENU機能画面に戻ります：

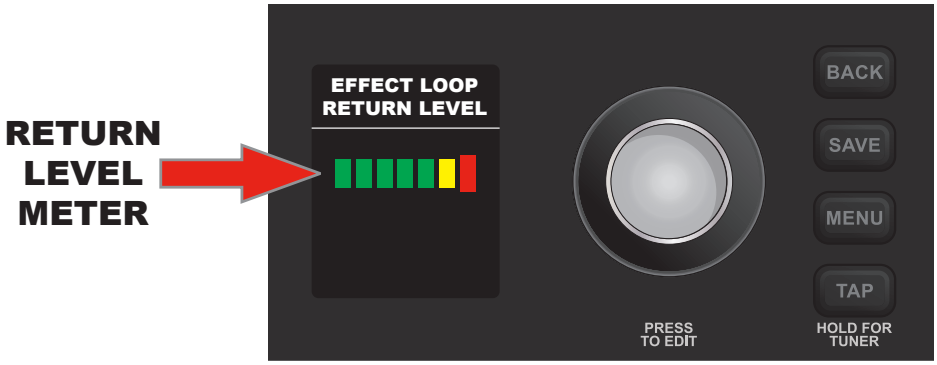


最高の音質のために、シグナルが緑色のバー内に留まり、右側の単一の黄色バーにかろうじて達し、最も右側の単一の長い赤色クリッピングバーには達しないよう「LEVEL」を設定してください（上の図では全てのバーが点灯して表示されています）。プリセットを変更すると個別のボリュームが変わることがあります。プリセットを変更する際に「LEVEL」の再調整が必要になる場合があります。

EFFECT LOOP: このオプションにアクセスするには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってLEVELSまでスクロールして選択します。EFFECT LOOPを選択してエフェクトループリターンシグナルレベルを表示します：

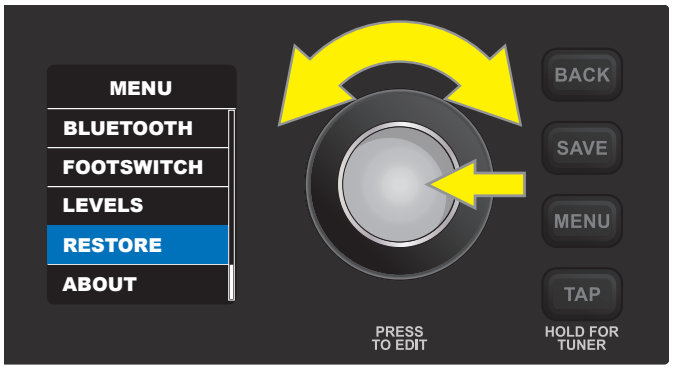


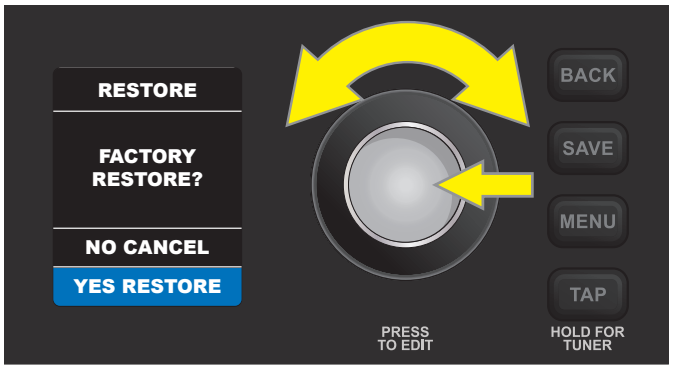




MENU: RESTORE

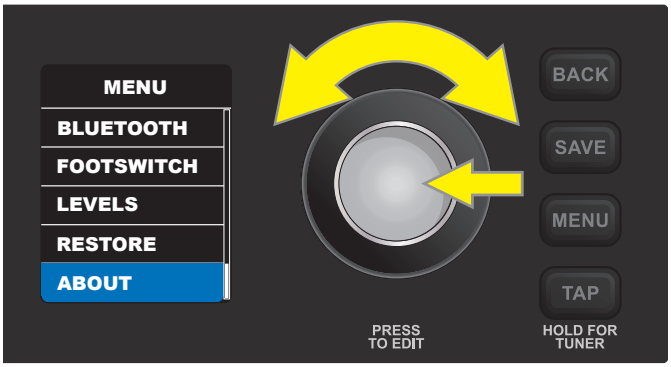
RESTOREは、すべてのオリジナル工場出荷時プリセットとアンプ設定の復元を可能にします。これを行うには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってRESTOREまでスクロールして選択します。復元を開始するには、ENCODERを使って「YES RESTORE」までスクロールして選択します。復元をキャンセルするには、「NO CANCEL」でENCODERを押すか、BACK utilityボタンを押します。復元が進行中の間は、進行バー付きの青色の待機画面が表示されます。復元が完了すると、ユーザーは最初のプリセット画面に戻ります：

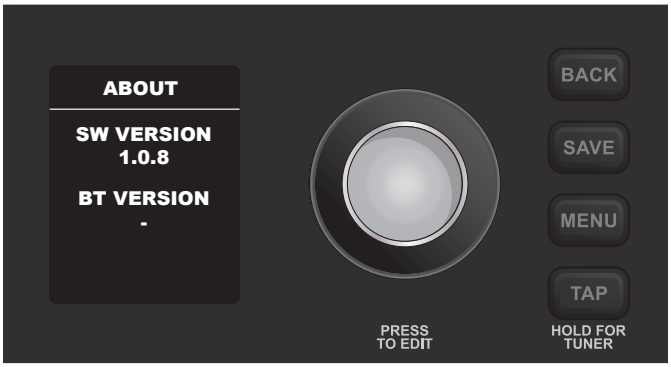




MENU: ABOUT

ABOUTはアンプの現在のファームウェアバージョンを表示します。これを行うには、MENU utilityボタンを押し、ENCODERを使ってABOUTまでスクロールして選択します。現在のファームウェアバージョンが表示されます：

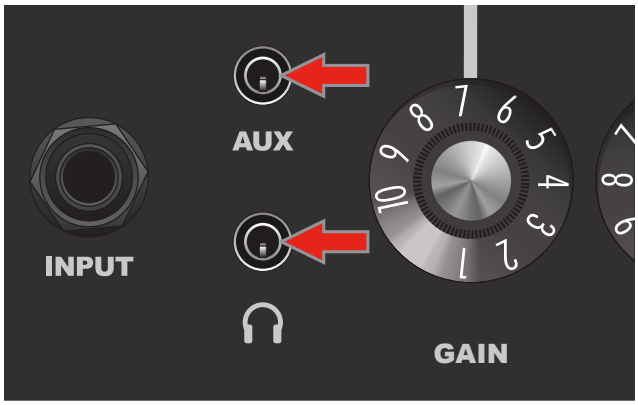




補助入力/ヘッドフォン出力

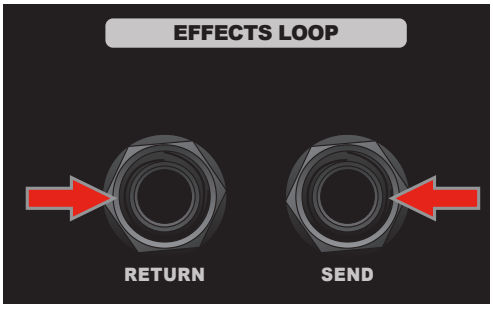
Mustang LTXコントロールパネルには、2つの1/8インチジャックが搭載されています：外部モバイル/オーディオデバイス接続用の補助入力と、便利なヘッドフォン使用のための出力です。

外部デバイスのボリューム設定を使用して楽器補助入力ミックスレベルを設定します。全体的なレベルはアンプのMASTERボリュームでコントロールされます。ヘッドフォンが接続されている場合、スピーカー出力はミュートされます。



リアパネル機能

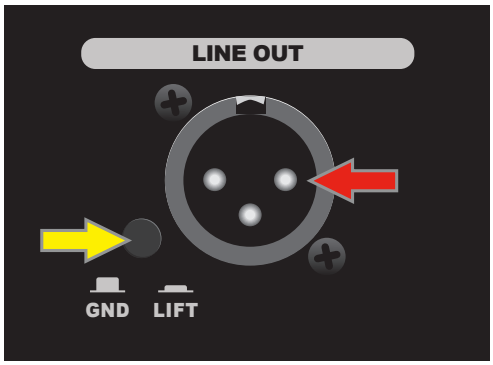
エフェクトループ



Mustang LTXアンプは1/4インチエフェクトループを搭載しています。リアパネルのSENDとRETURNジャックは、標準的な1/4インチTSまたはTRSケーブルを使用したモノラル外部エフェクトのためのものです。

これらのジャックに接続された外部エフェクトは、デジタルアンプモデルの直後、プリセットシグナルパス内でアンプモデル後に配置されたエフェクトブロックの前に挿入されることに注意してください。

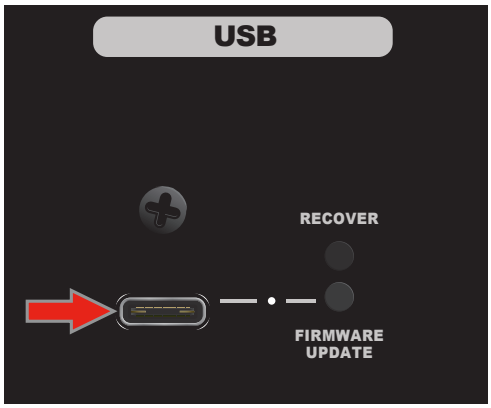
LINE OUT/GROUND LIFT



バランスXLRライン出力は、外部録音機器や音響増強機器への接続に利用できます。

LINE OUT出力レベルはLEVELSメニュー機能を使用して調整され、MASTERボリュームノブの影響を受けません。LINE OUTを使用する際、GROUND LIFTボタン（黄色の矢印）を押すことで、不適切にアースされた機器への接続によるハムやバズを除去できる場合があります。BluetoothとAux Inオーディオはライン出力に含まれます。

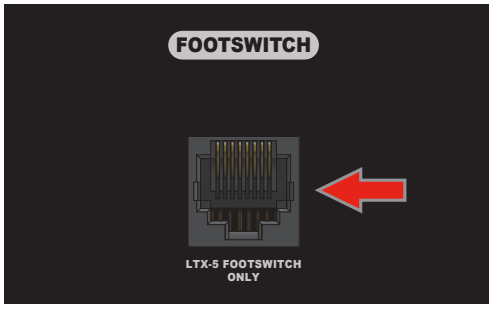
USB ポート



Mustang LTXリアコントロールパネルには、双方向オーディオ（録音とモニタリング）およびファームウェアアップデート用のUSBポートが搭載されています。USB-Cケーブルを使用して、録音ソフトウェアを搭載したコンピュータまたはiOSデバイスをこのポートに接続します。Appleコンピュータへの接続には外部ドライバーは不要です。Windows USB録音のサポートについては、https://support.fender.com の「Connected Amps」セクションをご覧ください。

USB出力レベルコントロールは「LEVELS」メニューにあります（*21-22*ページ参照）。BluetoothとAux InオーディオはUSB出力に含まれます。USB入力オーディオでモニタリングする際は、USBソースデバイスを使用して楽器ミックスレベルをコントロールし、アンプのMASTERボリュームを使用して全体的なボリュームを設定します。

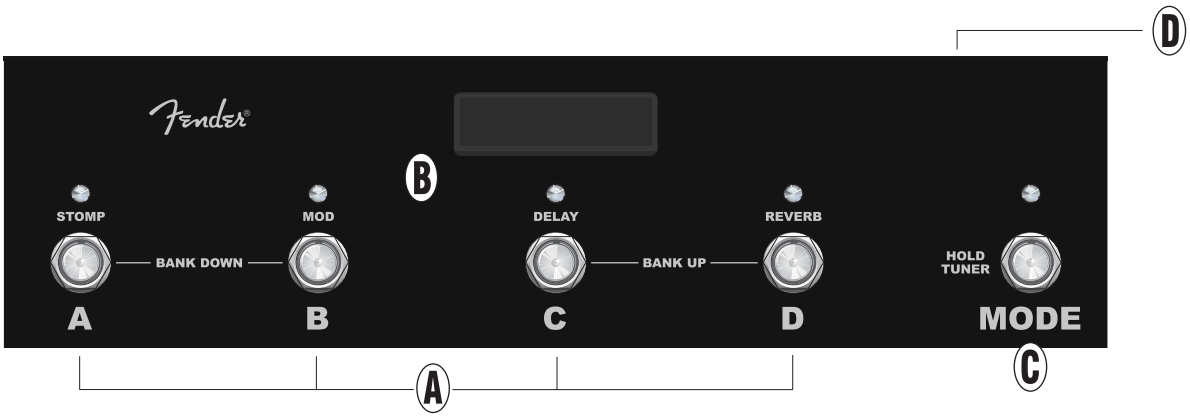
フットスイッチ



オプションの5ボタンLTX-5フットスイッチは、内蔵チューナー、アンプのプリセット選択、エフェクトバイパス、タップテンポを含むいくつかの機能の便利なリモートフットコントロールを可能にします。フットスイッチをリアパネルのFOOTSWITCHジャックに接続します。

LTX-5 フットスイッチ

LTX-5フットスイッチは、モード選択（PRESETSまたはEFFECTS）、プリセットバンキングと選択、エフェクトの使用とバイパス、タップテンポ、チューナーを含む、Mustang LTXの主要機能の便利なハンズフリー操作とコントロールを可能にするオプションの5ボタンフットスイッチです。4 つの機能ボタン、1 つのモード ボタン、5 つの 2 色 LED、およびディスプレイを備えています。



A. ファンクションボタン/LED: 4つのボタンにバイカラーLEDが下部に配列され、アクティブなプリセット、エフェクトバイパス状態、タップテンポ、プリセットバンクの選択に使用されます。LEDはアクティブなプリセットとエフェクトバイパス状態を示し、TUNERモードでも使用されます。左から右へ各ボタンはA、B、C、Dと文字で表示され、それぞれエフェクトタイプ—STOMP（ストンプボックス）、MOD（モジュレーション）、DELAY、REVERBでラベル付けされています。

B. 画面: アクティブなプリセット、エフェクトモード、チューナー、タップテンポを表示します。

C. MODEボタン/LED: PRESETSとEFFECTSモードを切り替え、TUNERモードも有効にします。バイカラーLEDは使用中のモードを示し、チューナーモードでも使用されます。

D. フットスイッチジャック（図示されていません）: RJ45フットスイッチケーブルをここに接続します。

フットスイッチ: プリセットモード

PRESETSモードでは、ユーザーはLTX-5フットスイッチを使用してMustang LTXのプリセットにアクセスできます。これを行うには、MODEボタンを踏んでPRESETSモードを有効にします。MODEボタンのLEDが青色に点灯し、アクティブなプリセット番号と名前がディスプレイに表示されることで確認できます。

LTX-5フットスイッチがPRESETSモードの時、プリセットは4つのプリセットのグループを含む連続したバンクで利用可能になり、それぞれがファンクションボタンA、B、C、Dに割り当てられます。ファンクションボタンCとDを同時に踏むことで、その後の4つのプリセットのバンクを上に移動します。ファンクションボタンAとBを同時に踏むことで、前の4つのプリセットのバンクを下に移動します。バンク番号とプリセット番号がディスプレイに表示されます（次ページの画像を参照）：

同時に押してバンクダウン　　同時に押してバンクアップ

希望するプリセットを含むバンクに到達したら、対応するファンクションボタン（A、B、C、またはD）を踏んで、そのバンク内の希望するプリセットを選択します。希望するプリセットが選択されると、対応する青色のファンクションLEDが点灯し、ディスプレイには使用中のプリセットが表示されます。アクティブなプリセットにディレイエフェクトが含まれている場合、MODEのLEDがそのディレイのテンポに合わせて点滅します：

フットスイッチ: エフェクトモード

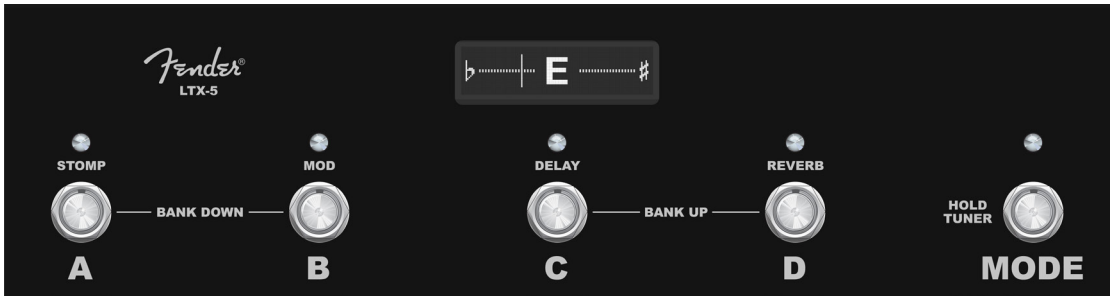
どのプリセットでも、LTX-5フットスイッチのEFFECTSモードでユーザーはエフェクトのオン/オフを切り替えることができます。これを行うには、MODEボタンを踏んでEFFECTSモードを有効にします。MODEのLEDが赤色に点灯し、ディスプレイに「EFFECTS MODE」が表示されることで確認できます。

アクティブなプリセット内のエフェクトは、STOMP、MOD、DELAY、REVERBとラベル付けされたフットスイッチのファンクションボタンに割り当てられます。エフェクトがオンの時、割り当てられたファンクションボタンの上のLEDが赤く点灯します。エフェクトをバイパスするには、対応するファンクションボタンを踏みます。するとエフェクトとその赤いLEDが非アクティブになります。エフェクトを再びオンにするには、そのファンクションボタンを再び踏みます。

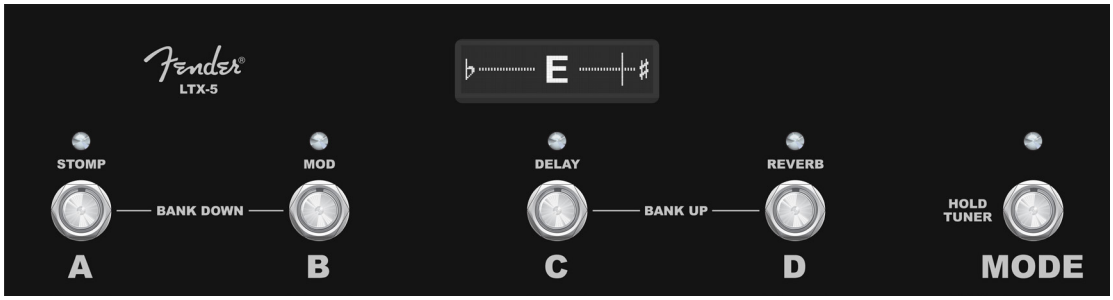
フットスイッチ: チューナー

LTX-5フットスイッチはハンズフリーチューニングも提供します。これを行うには、MODEボタンを踏んで短時間押し続けてクロマチックチューナーを有効にします。楽器からの信号がある場合、その信号に最も近い音程の文字がディスプレイに表示されます。

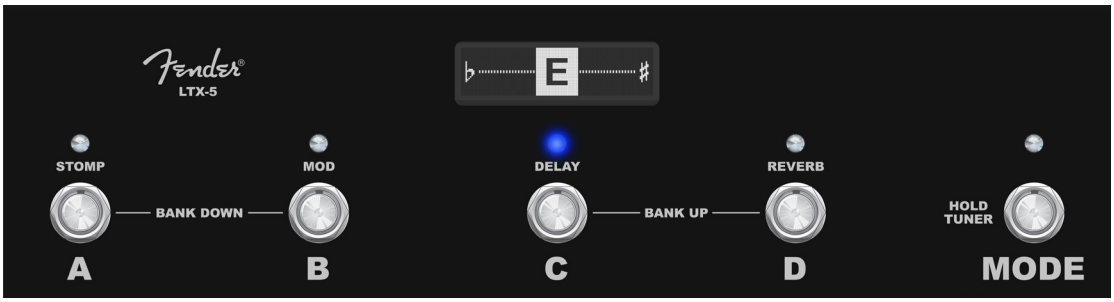
チューナーモードではディスプレイと機能ボタン C を使用します。目標ピッチに達すると、ファンクションボタンCの上の中央LEDが青く点灯し、ディスプレイの目標ピッチが白いボックス内の黒い文字に変わります（下記の例を参照）。チューニングが完了したら、任意のボタンを踏んでチューナーモードを終了します。LTX-5フットスイッチチューナーの使用はスピーカー出力をミュートすることにご注意ください。



フラット



シャープ



正確な調律

フットスイッチ: タップテンポ

ディレイエフェクトのテンポ（BPM単位）を設定するには、アクティブなプリセットフットスイッチを2回以上押します。-MODE LEDが新しいテンポで短時間点滅します。

ファームウェア アップデート

利用可能な場合、Mustang LTX50/100のファームウェアアップデートには、www.fender.com/mustang_ltx からダウンロード可能なFender Device Manager updaterアプリケーションの使用が必要です。インストーラーは以下の手順でアップデートプロセスを案内します：

1. Mustang LTX50/100の電源がオフの状態で、USBケーブルを背面パネルのUSB-Cジャックに接続し、もう一方の端をMacまたはPCに接続します。

2. 背面パネルのFIRMWARE UPDATEボタンを押し続けながら、Mustang LTX50/100の電源を入れます。赤色のFIRMWARE UPDATE LEDが点滅を開始します。FIRMWARE UPDATEボタンを離し、アップデーターアプリケーションを起動して画面上の指示に従ってください。アップデートが進行中の間、FIRMWARE UPDATE LEDは点滅を続けます。

3. アップデートが正常に完了すると、FIRMWARE UPDATE LEDは自動的に消灯し、アップデーターアプリが成功（または失敗）を表示します。失敗の場合、FIRMWARE UPDATE LEDは赤色の点灯状態になります。アップデートが失敗した場合は、ファームウェアアップデートの手順を繰り返してください。

4. アップデートが完了したら、USBケーブルを取り外し、Mustang LTX50/100を再起動してください。

仕様

MUSTANG LTX50

型式	PR 6270			
消費電力	140ワット			
出力	50ワット（8Ω）1% THD	出力パワー: フル		
入力インピーダンス	1MΩ, 2.7Vrms最大（楽器）	5kΩ/チャンネル, 1.2Vrms最大（補助）		
ヘッドフォン出力	140mW/チャンネル（32Ω）	70mW/チャンネル（16Ω最小推奨インピーダンス）		
エフェクト センド/リターン	+10dBV最大レベル入/出力	センドインピーダンス: 300Ω バランス		
	-10dBV基準レベル入/出力	リターンインピーダンス: 10kΩ バランス		
XLRライン出力	+24dBu（最大レベル）+4dBu（基準レベル）	インピーダンス: 600Ω バランス		
スピーカー	12インチ Celestion® G12P-80（8Ω）×1			
フットスイッチ	LTX-5 5ボタン（オプション PN 0994073000）			
寸法・重量	幅: 19インチ（48.26cm）	高さ: 16.75インチ（42.5cm）	奥行: 9インチ（22.86cm）	重量: 22ポンド（9.98kg）

MUSTANG LTX100

型式	PR 6271			
消費電力	250 ワット			
出力	100 ワット (4Ω) 1% THD	出力パワー: フル		
入力インピーダンス	1MΩ, 2.7Vrms最大（楽器）	5kΩ/チャンネル, 1.2Vrms最大（補助）		
ヘッドフォン出力	140mW/チャンネル（32Ω）	70mW/チャンネル（16Ω最小推奨インピーダンス）		
エフェクト センド/リターン	+10dBV最大レベル入/出力	センドインピーダンス: 300Ω バランス		
	-10dBV基準レベル入/出力	リターンインピーダンス: 10kΩ バランス		
XLRライン出力	+24dBu（最大レベル）+4dBu（基準レベル）	インピーダンス: 600Ω バランス		
スピーカー	12インチ Celestion® G12FSD-100（4Ω）×1			
フットスイッチ	LTX-5 5ボタン（オプション PN 0994073000）			
寸法・重量	幅: 21インチ（53.34cm）	高さ: 17.5インチ（44.45cm）	奥行: 9.5インチ（24.13cm）	重量: 23.5ポンド（10.43kg）

製品仕様は予告なく変更される場合があります。

PART NUMBERS / REFERENCIAS / RÉFÉRENCE / NÚMERO DAS PEÇAS / NUMERO PARTI / TEILENUMMERN NUMERY REFERENCYJNE / REFERENČNÍ ČÍSLA / REFERENČNÉ ČÍSLA / REFERENČNE ŠTEVILKE / 部品番号 / 型号 零件號 / НОМЕРА НА ЧАСТИ / BROJEVI DIJELOVA / ONDERDEELNUMMERS / OSANUMBRID / OSIEN NUMEROT ARITHMOI MEROS / DAĻU NUMURI / DALIŲ NUMERIAI / NUMERE DE PIESĂ / ARTIKELNUMMER

MUSTANG LTX50	MUSTANG LTX100
2311700000 (120V, 60Hz) NA	2311800000 (120V, 60Hz) NA
2311701000 (110V, 60Hz) TW	2311801000 (110V, 60Hz) TW
2311703000 (240V, 50Hz) AU	2311803000 (240V, 50Hz) AU
2311704000 (230V, 50Hz) UK	2311804000 (230V, 50Hz) UK
2311705000 (220V, 50Hz) ARG	2311805000 (220V, 50Hz) ARG
2311706000 (230V, 50Hz) EU	2311806000 (230V, 50Hz) EU
2311707000 (100V, 50/60Hz) JP	2311807000 (100V, 50/60Hz) JP
2311708000 (220V, 50Hz) CN	2311808000 (220V, 50Hz) CN
2311709000 (220V, 60Hz) ROK	2311809000 (220V, 60Hz) ROK
2311713000 (240V, 50Hz) MA	2311813000 (240V, 50Hz) MA
2311714000 (120V, 60Hz) MX	2311814000 (120V, 60Hz) MX
2311715000 (120V, 60Hz) BRA	2311815000 (120V, 60Hz) BRA

マニュアル翻訳版は www.fender.com/Support でご利用いただけます

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
箱体	O	O	O	O	O	O
喇叭单元*	O	O	O	O	O	O
电子部分	X	O	X	O	O	O
接线端子	X	O	O	O	O	O
电线	X	O	O	O	O	O
附件	O	O	O	O	O	O

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。
O：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。
X：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。
注：含有有害物质的部件由于全球技术发展水平限制而无法实现有害物质的替代。

*产品含有喇叭单元时有效。

の製品
FENDER MUSICAL INSTRUMENTS CORP.
311 CESSNA CIRCLE
CORONA, CALIF. 92878 U.S.A.

FENDER (EDC) B.V.
Transpolispark, Siriusdreef 17-27, Hoofddorp, 2132 WT
contactemea@fender.com

AMPLIFICADOR DE AUDIO
IMPORTADO POR: Fender Ventas de México, S. de R.L. de C.V.
Calle Huerta #279, Int. A. Col. El Naranjo. C.P. 22785. Ensenada, Baja California, México.
RFC: FVM-140508-CI0
Servicio al Cliente: 01(800) 7887395, 01(800) 7887396, 01(800) 7889433

Fender® および Mustang™ はFMICの商標です 。
その他の商標は各所有者の財産です。
Copyright © 2025 FMIC. 全権利保有。

PN 70-42000487 REV. A JAPANESE